

防整技第2604号  
29.3.3

大臣官房会計課長  
地方協力局施設管理課長  
防衛大学校総務部管理施設課長  
防衛医科大学校事務局経理部施設課長  
防衛研究所企画部総務課長  
統合幕僚監部総務部総務課長  
陸上幕僚監部監理部会計課長  
海上幕僚監部総務部経理課長 殿  
航空幕僚監部防衛部施設課長  
情報本部計画部事業計画課長  
各地方防衛局調達部長  
帯広防衛支局長  
東海防衛支局長  
熊本防衛支局長  
名護防衛事務所長  
防衛装備庁長官官房会計官

整備計画局施設技術管理官  
( 公 印 省 略 )

公共建築工事積算基準等の運用について（通知）

標記について、別紙のとおり定めたので、平成29年4月1日以降に公告を行う工事から、これにより実施されたく通知する。

なお、公共建築工事共通費積算基準等の運用について（防整技第7395号。28.4.1）は、平成29年3月31日限りで廃止する。

添付資料：別紙

写送付先：整備計画局施設計画課長、整備計画局施設整備官、整備計画局提供施設計画官、地方協力局地方協力企画課長、地方協力局提供施設課長

平成29年3月3日 防整技第2604号

## 公共建築工事積算基準等の運用

### 整備計画局施設技術管理官

公共建築工事積算基準等の運用（以下「本運用」という。）は、統一基準における「公共建築工事積算基準」、「公共建築工事標準単価積算基準」（以下「単価基準」という。）及び「公共建築工事共通費積算基準」（以下「共通費基準」という。）等の運用を取りまとめたもので、防衛省が実施する建設工事（工事の実施細目について（防整技第7167号。28. 3. 31）第2第1項に規定する建設工事をいう。）の適正な工事費の積算に資することを目的とする。

# 公共建築工事積算基準等の運用

## 目 次

第1編 工事費	1
第2編 共通費	2
第1章 共通仮設費	2
第2章 現場管理費	7
第3章 一般管理費等	9
第4章 その他	10
第3編 単価及び価格	15
第1章 共通事項	15
第2章 建築工事	25
第1節 新設工事	25
第1項 仮設	25
第2項 土工	29
第3項 地業	31
第4項 鉄筋	32
第5項 コンクリート	33
第6項 型枠	34
第7項 鉄骨	35
第8項 既製コンクリート	37
第9項 防水	38
第11項 タイル	40
第13項 屋根及びとい	41
第14項 金属	42
第15項 左官	43
第16項 建具	44
第17項 塗装	46
第18項 内外装	53
第2節 改修工事	59
第1項 仮設(改修)	59
第2項 撤去	60
第3項 防水改修	61
第4項 外壁改修	62
第5項 建具改修	63
第6項 内装改修	64
第7項 塗装改修	65

第8項	耐震改修	66
第3章	電気設備工事	67
第1節	新設工事	67
第1項	共通工事	67
第2項	電力設備工事	71
第3項	通信・情報設備工事	73
第2節	改修工事	74
第1項	撤去	76
第2項	機器搬出	77
第3項	はつり工事	78
第4章	機械設備工事	79
第1節	新設工事	79
第1項	共通工事	79
第2項	空気調和設備工事	84
第3項	自動制御設備工事	85
第4項	給排水衛生設備工事	86
第2節	改修工事	87
第1項	共通工事（改修）	87
第2項	空気調和設備工事（改修）	89
第3項	給排水衛生設備工事（改修）	90
第4項	撤去工事	91
第5章	昇降機設備工事	92
第1節	新設工事	92
第1項	共通工事	92
第2節	改修工事	93
第1項	共通工事	93
第2項	撤去工事	94

附表            補正市場単価算出方法

---

## 第1編 工事費

### 1 公共料金の取り扱い

現場発生による、湧水を公共下水道に流す場合等の費用に「当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額を当初工事費内訳書記載の工事価格で除した比率」を乗じない。

### 2 設計変更における工事費

設計変更における工事費を算定する際の「当該変更対象の直接工事費を積算し、これに当該変更に係わる共通費を加えて得た額に、当初請負代金額から消費税相当額を減じた額を当初工事費内訳書記載の工事価格で除した比率」の端数処理については、小数点以下第5位を四捨五入して4位止めとする。

## 第2編 共通費

### 第1章 共通仮設費

#### 1 共通仮設費の区分

共通仮設費は、一般工事、鉄骨工事、その他工事、発生材処分費に区分して算定する。

なお、ここでいう一般工事とは直接工事費から鉄骨工事、その他工事、発生材処分費を除いた工事をいう。

#### 2 共通仮設費の算定方法

(1) 共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。

(2) 共通仮設費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日／月にて除す。その値は、小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。

なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日／月にて除し、この値をT（工期）として共通仮設費率を算出することができる。

(3) 契約から着工予定日までの間を施工準備期間としてT（工期）に含めるものとする。ただし、3か月を超える場合は、3か月を施工準備期間とし、T（工期）に含める。

#### 3 共通仮設費率に含まれない内容

以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

##### (1) 準備費

敷地測量、道路占有料、仮設用借地料、既存施設内の家具、什器及び機器等の移動・復旧に関する費用

##### (2) 仮設建物費

イ 宿舎、設計図書によるイメージアップ費用

ロ 電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事における、監理事務所（監督官事務所）、備品等の費用

ハ 建築工事における、監理事務所（監督官事務所）の備品等の費用のうち、設計図書に該当工事固有の事情により指定された内容

##### (3) 工事施設費

仮囲い、工事用道路、歩道構台、設計図書によるイメージアップ費用

##### (4) 環境安全費

安全管理・合図等の要員に要する費用、工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用

## (5) 機械器具

## イ 新設工事における荷揚用揚重機械の費用

機種を選定及び存置日数は、表1-1～表1-5を参考とし、施工条件等により機種を選定

表1-1 地上階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
1	16 t	$13 \times A + 1$	
2	16 t	$21 \times A + 2$	
3	16 t	$29 \times A + 3$	
4	20 t	$37 \times A + 4$	
5	25 t	$45 \times A + 5$	

表1-2 地下階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
B1	25 t	$12 \times A + 1$	
B2	25 t	$20 \times A + 2$	
B3	25 t	$28 \times A + 3$	

表1-3 塔屋階の躯体用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数			備考
		100㎡未満	300㎡未満	500㎡未満	
P1	躯体地上階による	3	4	5	1階当たりの面積
P2	躯体地上階による	6	8	10	
P3	躯体地上階による	9	12	15	

表1-4 地上階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
1	16 t	$4 \times A + 1$	
2	16 t	$8 \times A + 2$	
3	16 t	$12 \times A + 3$	
4	二本構(-構)リフト	仕上期間	建築面積1,000㎡毎に1台
5	二本構(-構)リフト	仕上期間	建築面積1,000㎡毎に1台

表1-5 地下階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数(N)	適用機種	存置日数	備考
B1	20 t	$4 \times A + 1$	
B2	20 t	$8 \times A + 2$	
B3	20 t	$12 \times A + 3$	

- 注) (各表共通) 1.  $A = \text{建築面積} / 750 \text{ m}^2$  (計算過程においてAの値を端数処理する場合は、小数点以下第三位を四捨五入し小数点以下第二位とする。建築面積は基準階面積とし、500㎡未満の場合は500㎡とする。)
2. 存置日数の端数処理は、小数点以下第一位を切上げ整数とする。
3. 各階の面積が著しく異なる場合は、別途考慮する。

- ロ 改修工事における荷揚用揚重機械器具の機種を選定及び存置日数は、施工内容、施工条件等により機種を選定
- (6) その他
- イ 材料及び製品の品質管理試験に要する費用は、コンクリート圧縮試験費及び鉄筋の圧接試験費（引張り試験及び超音波探傷試験）を除き、以下の試験費を積み上げにより算定して加算する。
- ・アスベスト粉じん濃度測定
  - ・アスベスト含有量調査
  - ・室内空気中の化学物質の濃度測定
  - ・六価クロム溶出試験費
  - ・レディーミクストコンクリート単位水量測定費
  - ・PCB含有シーリング材の判定試験費
  - ・上記に類する各種試験費
- ロ 離島等で建設工事に従事する作業員等の確保が困難であると判断される場合において、作業員等の確保に要する費用は、以下の費用を積み上げにより算定して加算することができる。
- ・労務者の滞在に係る費用
  - ・労務者の渡航に係る費用
  - ・労務者の拘束に係る費用
  - ・資材等の海上運搬費（島内において現場渡し可能な場合は、材料単価に含め直接工事費に計上する）
- ハ 工事連絡会議に対象となる工事の設計受注者を参加させるための費用  
工事連絡会議に対象となる工事の設計受注者を参加させるための費用については、現場管理費及び一般管理費等は算定しない。
- ニ 標準図等を活用して工事を発注する場合の調査費及び詳細図等作成費  
調査費及び詳細図等作成費については、現場管理費及び一般管理費等は算定しない。
- 4 鉄骨工事における共通仮設費率の補正  
共通費基準 2（4）の場合は、共通仮設費率に0.9を乗じる。また、補正の対象となる鉄骨工事の取り扱いは、第2編第4章1による。
- 5 監理（監督官）事務所の補正
- (1) 共通費基準 2（3）表-4のうち監理（監督官）事務所については、一般工事の共通仮設費率に0.9を乗じ、設計図書による規模及び仕上げに基づき算定して加算する。
- (2) 鉄骨工事における共通仮設費率の補正をおこなう工事は、(1)で補正した率に0.9を乗じる。
- (3) 既存施設を監理事務所（監督官事務所）として利用できる場合は、利用中の維持管理費及び利用後の現場復旧に要する費用を考慮し低減は行わない。また、条件明示による事務所の規模の違いによる補正は行わない。



## 6 その他工事を含めて発注する場合

共通費基準 2(5)の場合は、一般工事とその他工事の直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率により一般工事の共通仮設費を算定し、その他工事の共通仮設費は共通仮設費率を1%として算定する。

## 7 労務費の比率が著しく少ない工事

共通費基準 2(6)の労務費の比率が著しく少ない工事の共通仮設費率は、その率に0.9を乗じる。

なお、労務費の比率が著しく少ない工事とは、直接工事費に占める労務費の割合が概ね10%以下の工事。

## 8 建設発生土処分費及び発生材処分費の取り扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の共通仮設費は算定しない。

## 9 リース料の取り扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合のリース料については、共通仮設費を算定しない。

共通仮設費率は、リース料を含む直接工事費の合計額及び工期に対応する共通仮設費率とする。

## 10 共通仮設費率の留意事項

## (1) 共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費

イ 新設工事は引込費用（布設長は、分岐位置から500m以内程度。布設長が著しく長い場合は、超える部分を積み上げ計上する。）及び使用料が該当する。（工事用）

ロ 改修工事は既存施設からの引込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する。（工事用）

ハ 本受電後の電力基本料金については、設計図書の特記に基づき積み上げにより算定して加算する。

ニ 設計図書において電気料金及び水道料金の支払いを免じられている米軍基地等の積算については、動力用水光熱費の割合の30%（電気料金+上下水道料金+本受電後使用料）を控除する。

動力用水光熱費の割合は表1-6-1～5による。

表1-6-1 建築新設

工事規模 (百万円)	50未満	50～ 100未満	100～ 200未満	200～ 300未満	300～ 500未満	500～ 1,000未満	1,000～ 2,000未満	2,000 以上
割合(%)	6.97	6.32	9.49	12.17	11.28	11.64	11.84	12.30

表1-6-2 建築改修

工事規模 (百万円)	10未満	10～ 20未満	20～ 30未満	30～ 50未満	50～ 100未満	100～ 200未満	200～ 300未満	300 以上
割合(%)	5.77	7.3	7.87	6.08	7.01	8.16	12.18	11.81

表1-6-3 電気設備

区分	新設	改修
割合(%)	4.63	4.55

表1-6-4 機械設備

区分	新設	改修
割合(%)	5.57	4.31

表1-6-5 昇降機設備

区分	新設
割合(%)	6.14

## (2) 屋外整理清掃費

施工中に発生する端材等の処理に要する費用（指定された集積場所から構外へ搬出するための積込み、運搬費及び処分費）は、共通仮設費率に含む。

## 11 設計変更における工期

工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、共通仮設費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

## 第2章 現場管理費

### 1 現場管理費の区分

現場管理費は、共通仮設費で区分した項目ごとに算定する。

### 2 現場管理費の算定方法

(1) 現場管理費の算定は現場管理費率により算定する。

(2) 現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。

なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日／月にて除し、この値をT（工期）として現場管理費率を算出することができる。

(3) 契約から着工予定日までの間を施工準備期間としてT（工期）に含めるものとする。ただし、3か月を超える場合は、3か月を施工準備期間とし、T（工期）に含める。

### 3 現場管理費率に含まれない内容の積み上げ

以下の項目については、現場管理費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(1) 要員等に関するもの及び工事实績情報（コリンズ）の登録

イ 要員等の費用

条件明示された要員等の費用（共通仮設費の費用以外、現場雇用労働者の給料等）

ロ 昇降機設備工事における工事实績情報（コリンズ）の登録等に要する費用

工事費が2,500万円未満の場合

なお、工事費が2,500万円以上の場合は、その率に含まれている。また、500万円未満の工事費は、登録を必要としない。

『工事实績情報登録費用』＝登録作業費<sup>※1</sup>＋登録料（税抜き）

※1：登録作業費＝特殊作業員1.0人・日

### 4 鉄骨工事における現場管理費率の補正

共通費基準 3（4）の場合は、現場管理費率に1.0を乗じる。また、補正の対象となる鉄骨工事の取り扱いは、第2編第4章1による。

### 5 その他工事を含めて発注する場合

共通費基準 3（5）の場合は、一般工事とその他工事の純工事費の合計額に対応する現場管理費率により一般工事の現場管理費を算定し、その他工事の現場管理費は現場管理費率を2%として算定する。

---

6 労務費の比率が著しく少ない工事

共通費基準 3(6)の労務費の比率が著しく少ない工事の現場管理費率は、その率に0.8を乗じる。

なお、労務費の比率が著しく少ない工事とは、直接工事費に占める労務費の割合が概ね10%以下の工事。

7 建設発生土処分費及び発生材処分費の取り扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の現場管理費は算定しない。

8 リース料の取り扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合のリース料については、現場管理費を算定しない。

なお、現場管理費率は、リース料を含む純工事費の合計額及び工期に対応する現場管理費率とする。

9 支給材を使用する工事

支給材（入居官署又は発注者側で購入・製作された資機材）を使用して工事を施工する場合は、支給材を購入すると仮定した評価額の2%を現場管理費に加算する。ただし、再利用資機材については算定しない。

10 設計変更における工期

工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、現場管理費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

## 第3章 一般管理費等

### 1 一般管理費等の算定方法

#### (1) 前払金支出割合による補正

イ 前払金支出割合が35パーセント以下とした場合の一般管理費等は、表3-1の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を一般管理費等率に乗じる。

ロ 前払金の支出割合に対して補正係数を求め一般管理費等率に乗じるものであり、支払限度額の割合に対しては適用しない。

表3-1 一般管理費等率補正係数

前払金支出割合区分 (%)	補正係数
5以下	1.05
5を超え15以下	1.04
15を超え25以下	1.03
25を超え35以下	1.01

## 第4章 その他

### 1 第2編第1章4及び第2章4の新設工事における主体構造物にかかわる鉄骨工事の補正に関する取り扱いについて

#### (1) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における取り扱い

鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造において、鉄骨工事として科目で取り扱う項目は表4-1のとおり全て補正の対象とする。ただし、建方機械器具（定置式・移動式）は、共通仮設費の一般工事の区分として積み上げる。

#### (2) 鉄筋コンクリート造における取り扱い

体育館、倉庫及び格納庫等の鉄筋コンクリート造において、屋根部が鉄骨造の場合は補正の対象とする。

#### (3) 鉄塔の取り扱い

鉄塔については単体として取り扱い、設置場所（地盤面又は鉄筋コンクリート造屋上面）にかかわらず補正の対象とする。

#### (4) フラットデッキの取り扱い

フラットデッキについては、鉄骨造の場合に限り補正の対象とする。

表4-1 鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造における補正

(注) ○印は対象項目、△印は鉄骨造のみ対象項目

鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造における補正					
鉄骨工事					
鋼材費	○	工場加工費	○	鉄骨運搬費	○
工場塗装	○	溶融亜鉛めっき処理	○	現場錆止め塗装	○
建て方費	○	溶接試験	○	現場溶接	○
アンカーボルト	○	スタッド溶接	○	柱底均しモルタル	○
デッキプレート (合成スラブ用)	○	フラットデッキ (床型枠用)	△	耐火被覆	○
				専用仮設	○
付帯鉄骨（母屋、胴縁）	○	鉄骨階段・鉄骨庇	△	設備機器架台	○
鉄塔	○	C・W一次ファスナー	○		

### 2 その他工事として取り扱う工事

その他工事として取り扱う工事の具体例を表4-2及び表4-3に示す。

なお、表4-2及び表4-3には共通費基準 表-6 その他工事 に示された以外の工事も含まれているが、それらを一般工事に含めて発注する場合においても、共通費基準 2 (5) 及び3 (5) の定めによる。

## 共通費

表4-2 その他工事としての取り扱い（建築工事）

（注）○印は対象項目、×印は対象外項目

特殊な室内装備品等	家具・書架及び実験台の類で通常の建物本体工事に含まれない特殊な室内装飾品及び付帯工事。				
壁面収納（スチール棚）	○	ローパーテーション	○	移動書架	○
書架（スチール棚）	○	書架（既製木製棚）	○	家具（造り付け以外）	○
造り付け家具	×	カーテン	×	ブラインド	×
ファンコイルカバー	×	じゅうたん	×	OAフロアー	×
一般（湯沸室）流し台	×	トイレブース	×	可動・移動間仕切	×
実験流し台	○	実験・医療器具	○	シールド工事	○
舞台機構装置	○	浴室・シャワーユニット	×	厨房機器	×
清掃用ゴンドラ	×	免震工事	×	PC工事	×
自転車置場上屋	○	ゴミ置場上屋	○	仮設建物（設置・撤去）	○
立体駐車場	×	音響工事	○	冷凍・冷蔵庫（フレイフ型）	○
パーゴラ（上屋）・東屋（上屋）	○				
植栽及び屋上緑化工事	種目で植栽及び屋上緑化工事として取り扱われる項目全て。				
樹木費	○	植え込み費	○	地被類（芝張り、は種）	○
支柱	○	移植	○	客土	○
植栽基盤	○	土壌改良	○	ツリーサークル	○
伐採・抜根	○	人工土壌	○	排水マット敷設	○
庭石・モニュメント	○	温室工事	○		
舗装工事	種目で舗装工事として取り扱われる項目全て。ただし、土工、縁石、側溝は一般工事とする。				
土工事	×	直接仮設（舗装用）	○	アスファルト舗装	○
コンクリート工事	○	タイル張り舗装	○	石張り舗装	○
インターロッキング舗装	○	舗石舗装	○	グラウンド・テニスコート	○
平板舗装	○	路床整正	○	舗装機械運搬	○
トラフィックペイント	○	縁石	×	L型側溝・V型溝	×
排水ます	×	開きよ（U字溝）	×	排水管	×
取り壊し工事	種目で取り壊し工事として取り扱われる項目全て。ただし、作業区分 <sup>*</sup> がレベル3相応のアスベスト含有建材（成形板等）処理工事については、一般（改修）工事とし、レベル1及びレベル2に相当する場合はその他工事とする。				
とりこわし費	○	集積積込み	○	アスベスト処理工事費	△
とりこわし材運搬費	○	とりこわし機械運搬	○		

※参照：「目で見えるアスベスト建材（第2版）」国土交通省

表4-3 その他工事としての取り扱い（設備工事）

項目	備考
特別高圧受変電設備	
周波数変換装置	
無停電電源装置（UPS）	10kVA未満は除く。
定電圧定周波数装置（CVCF）	
内燃力発電装置	50kW未満は除く。
ガスタービン発電装置	50kW未満は除く。
太陽光発電装置	20kW未満は除く。
風力発電装置	20kW未満は除く。
中央監視制御装置	
非破壊検査	
配管洗浄	航空燃料配管等
既設地下油槽へのFRP内面ライニング	
ボラード	基礎工事及び配管配線工事を含む
特殊空調設備	
循環ろ過設備	
排水処理設備	
ごみ処理設備	
搬送設備	
機械式駐車設備	
特殊ガス設備	
実験機器設備	
医療器具設備	
その他特殊設備	

- 3 その他工事を単独で発注する場合の共通費  
 専門工事業者からの見積りを参考に計上する。
- 4 指定部分及び指定部分工期  
 原則として、指定部分の工期は、共通仮設費及び現場管理費における算定に用いる工期（T）に用いない。  
 なお、指定部分とは工事の完成に先立ち引渡しを受けるべきことを設計図書により指定した工事範囲をいい、その工事範囲の完了期限を指定部分工期という。
- 5 新設工事と改修工事を一括して発注する場合
  - （1）共通仮設費及び現場管理費は、新設工事と改修工事に区分して算定する。
  - （2）共通仮設費率及び現場管理費率は、新設工事と改修工事の直接工事費の合計額に対応する新設工事と改修工事それぞれの共通仮設費率、純工事費の合計額に対応する新設工事と改修工事それぞれの現場管理費率とする。
  - （3）積み上げによる共通仮設費及び現場管理費は、新設工事と改修工事のうち主な工事の共通仮設費又は現場管理費に計上する。



(4) 一般管理費等は、新設工事と改修工事の工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

#### 6 敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合

- (1) 共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの敷地の工事毎に算定する。
- (2) 共通仮設費率及び現場管理費率は、それぞれの敷地の工事毎に直接工事費及び工期に対応する共通仮設費率、純工事費及び工期に対応する現場管理費率とする。
- (3) 積み上げによる共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの敷地の工事毎に計上する。
- (4) 一般管理費等は、それぞれの敷地の工事毎に工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

#### 7 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかを一括して発注する場合

- (1) 共通仮設費及び現場管理費は、工事種別毎の共通仮設費及び現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。

ただし、主たる工事以外のいずれかの工事（昇降機設備工事を除く。）が、主たる工事と比較して軽微な工事であり、かつ、単独の工期設定がない場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定することができる。なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。

※ 軽微な工事とは、原則として次のいずれかに該当するものをいう。また、工事内容、工事費の比率等を考慮し、適切に対応する。

①主たる工事以外の直接工事費が、主たる工事の直接工事費の1/20以下又は30万円以下の場合

②工事内容、工事費及び工期から判断して、①に準ずるとみなせる場合

- (2) 積み上げによる共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの工事種別毎に区分して計上する。
- (3) 一般管理費等は、それぞれの工事種別の工事原価の合計額に対する主たる工事の一般管理費率により算定する。
- (4) 共通費の積算手法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。

#### 8 後工事の取り扱い

- (1) 本来一体とすべき同一建築物又は同一敷地内の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下「後工事」という。）の共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等は、契約済みのすべての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算定した額から、前工事の額を控除した額とする。

#### 9 工事の一時中止に伴う増加費用

- (1) 工事一時中止に伴う増加費用は、工事現場の維持に要する費用、工事体制の縮小に要する費用及び工事の再開準備に要する費用（以下、「工事現場の維持等に要する費用」という。）に本支店における増加費用を加算した費用とする。
- (2) 工事現場の維持等に要する費用は、中止期間中における工事現場の管理に関する計

---

画（基本計画書）に基づき実施した内容について見積りを求め、それを参考に積み上げ計上する。

- (3) 工事現場の維持等に要する費用として積み上げる内容に、仮囲い等の仮設、警備要員など当初予定価格の作成時に積み上げで算定したものがある場合、当初積算の方法により積み上げ計上する。
- (4) 工事一時中止に係る本支店における増加費用は、設計変更における一般管理費等の算定方法と同様に、工事中止に伴う増加費用（積み上げ分）を当初発注工事内に含めた場合の一般管理費等を求め、当初発注工事の一般管理費等を控除した額とする。
- (5) 一般管理費等率は、工事原価に工事一時中止に伴う増加費用（積み上げ分）を加算した額に対応する一般管理費等率とする。
- (6) 契約保証費は補正を行わない。

#### 10 工事に伴う湧水の排出費用

共通費を算定する場合の直接工事費には、工事に伴う湧水等を公共下水道等に排出する場合の費用（下水道料金のみ）は含まないものとする。

#### 11 共通費算定に関する数値の取り扱い

##### (1) 積み上げによる算定

積み上げによる算定は第3編18に準ずる。

##### (2) 率による算定

「公共建築工事共通費積算基準」の率により算定した金額は、一円未満切捨てとする。

## 第3編 単価及び価格

### 第1章 共通事項

#### 1 材料単価等

単価基準 第1編 2 (1) に定める材料価格等とは、杭、鉄筋、コンクリート及び鉄骨等の価格変動が大きい資材並びに建物毎に個別性が高い機器等の単価及び価格をいう。

#### 2 市場単価

単価基準 第1編 2 (3) の掲載条件が一部異なる場合で市場単価を補正して算出する単価（以下「補正市場単価」という。）の補正方法は、次の式による。

なお、補正市場単価の細目工種、補正に用いる歩掛りについては各章による。

$$\text{補正市場単価 } A' = \text{市場単価 } A \times \text{算定式}$$

$$\text{算定式} = a' \div a$$

$a'$  = 補正市場単価  $A'$  の細目工種に対応する歩掛りによる複合単価

$a$  = 市場単価  $A$  の細目工種に対応する歩掛りによる複合単価

注) 算定式の値は、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位とする。

#### 3 歩掛り

単価の算定に用いる歩掛りは、単価基準 第1編 3 で規定される標準歩掛りの他に「営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り」（以下「協議会歩掛り」という。）による。

また、標準歩掛の補足資料として、「公共建築工事積算研究会参考歩掛り」（以下「参考歩掛り」という。）及び市場単価にない類似の単価の作成や見積り単価の検討資料として、「営繕積算システム等開発利用協議会参考資料（以下「協議会参考」という。）」を参考とする。

#### 4 工事が僅少等の取り扱い

工事が僅少の場合、施工場所が点在する場合、工程上連続作業が困難な場合等の単価及び価格は、施工に最低限必要な単位の材料、労務及び機械器具等の費用を実状に応じて算定する。

#### 5 時間外及び深夜の労働についての労務単価

公共工事設計労務単価（以下「労務単価」という。）は、所定労働時間内8時間当たりの単価であり、時間外及び深夜の労働についての割増賃金は含まれない。時間外及び深夜の労働は、施工時期・施工時間が制限され、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。ただし、時間外の労働は、変形

労働時間制等を考慮し、実状に応じて積算する。

【時間外、深夜の場合】

労務費（総額）＝労務単価＋労務単価×K×割増すべき時間数

ただし、K（割増賃金係数）＝割増対象賃金比×1／8×割増係数とする。

なお、K（割増賃金係数）は当該年度の「公共工事設計労務単価表 農林水産省・国土交通省」の「別表－1 割増対象賃金比及び1時間当り割増賃金係数」による。

また、市場単価の細目工種において、時間外及び深夜の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割増賃金に相当する割増率を算定し市場単価を補正する。

6 寒冷地、離島等

寒冷地における除雪に関する費用及び寒中養生のための費用等は、実状に応じて積算する。

離島等における工事の積算にあたっては、材料・労務の調達、プラント・機械器具の有無及び運搬方法等についての特殊事情を調査・検討し、実状に応じて積算する。

7 単価及び価格

単価基準 第1編2による単価及び価格の算定において材料価格、材料単価及び仮設材費は、積算資料（（一財）経済調査会発行）及び建設物価（（一財）建設物価調査会発行）等の価格の平均値を採用する。

市場単価は建築施工単価（（一財）経済調査会発行）及び建築コスト情報（（一財）建設物価調査会発行）に掲載されている「建築工事市場単価」の平均値を採用する。

8 製造業者又は専門工事業者の見積価格等

単価基準 第1編2（4）による場合で、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にして単価及び価格を算定する場合は、必要に応じてヒアリング等を行い市中における取引状況等（実勢価格帯）を確認する。

なお、当初の工事費内訳書作成時の見積依頼先は複数とし、見積内容が適切なことを確認の上、原則として最安値の見積書を基に実勢価格帯、類似の取引価格、数量の多寡及び施工条件等を勘案して単価及び価格を決定する。

見積を依頼する場合の方法等については、「公共建築工事見積標準書式」によるものとする。

9 設計変更時の取り扱い

単価基準 第1編5の場合の設計変更時の積算において、当初設計の工事費内訳書に対応して種目が追加された場合の単価及び価格は、（主任）工事監督官の指示又は承諾した時点の単価及び価格とする。

10 細目工種

細目工種は、単価基準 第2編～第5編によるほかに、参考歩掛りや協議会歩掛りも参考にする。

## 11 「その他」の率

歩掛りの「その他」の率は中間値を標準とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。

なお、交通誘導警備員等の率の設定がされていない工種等については、労務単価を25%割増するものとする。

ただし、地域特性等において上記により難しい場合は、各局にて警備会社等より見積徴収等を実施し、「その他の率」を設定することができるものとする。

## 12 市場単価等の補正

本来事業者が負担すべき法定福利費相当額を適切に反映するため、市場単価の補正を新設の場合、改修の場合共におこなう。なお、市場単価の補正方法は以下による。また、表A-1、表E-1及び表M-1の改修補正率には第3編第1章15(2)基準補正単価における、市場単価及び補正市場単価の補正率が含まれているので下式により算定する。

物価資料の掲載価格（市場単価以外の材工単価）を採用する場合も以下の表、各細目の補正率により算出する。

市場単価等への法定福利費の反映状況に応じ、補正率を見直す場合がある。

## 【新設の場合】

$$\text{基準単価} \times \text{新設補正率} = \text{新設市場単価}$$

## 【改修の場合】

$$\text{基準単価} \times \text{改修補正率} = \text{改修市場単価}$$

## 単価及び価格

表A-1 基準補正単価

細目	摘要	新設補正率	改修補正率
仮設工事		1.01	1.01
土工事		1.01	1.01
地業工事		1.01	1.01
鉄筋工事		1.01	1.01
コンクリート工事		1.01	1.01
型枠工事		1.01	1.01
鉄骨工事		1.01	1.01
既製コンクリート		1.01	1.09
防水工事		1.01	1.08
防水工事（シーリング）		1.01	1.12
石工事		1.01	1.10
タイル工事		1.01	1.11
木工事		1.01	1.08
屋根及びびとい		1.01	1.09
金属工事		1.01	1.10
左官工事		1.01	1.14
建具（ガラス）		1.01	1.08
建具（シーリング）		1.01	1.15
塗装工事		1.01	1.14
内外装工事		1.01	1.14
内外装工事（ビニル系床材）		1.01	1.06
ユニットその他		1.01	1.04
排水工事		1.01	1.01
舗装工事		1.01	1.01
植栽及び屋上緑化		1.01	1.01

表E-1 基準補正単価

工 種	摘 要	新設補正率	改修補正率
配管工事	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.01	1.18
	ケーブルラック	1.01	1.15
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.01	1.17
	プルボックス	1.01	1.10
	プルボックス用接地端子	1.00	1.00
	防火区画貫通処理、ケーブルラック用（壁・床）	1.01	1.14
	防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.01	1.05
配線工事	600V絶縁電線及び600V絶縁ケーブル	1.01	1.16
電動機その他接続材工事	金属製可とう電線管	1.01	1.15
接地極工事	鋼板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票（金属製）	1.01	1.01

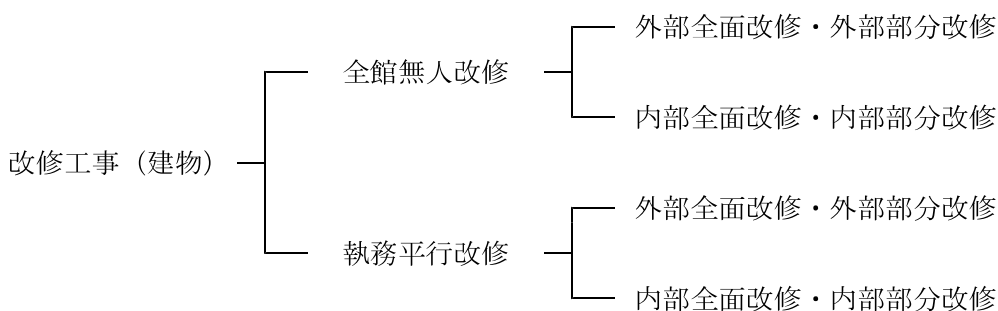
表M-1 基準補正単価

工 種	摘 要	新設補正率	改修補正率
保温工事	配管用	1.01	1.15
	ダクト用及び消音内貼	1.01	1.14
ダクト工事	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧ファンパー類	1.01	1.14
ダクト附属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.01	1.21
衛生器具	取付手間のみ	1.01	1.21

## 13 改修工事の分類

改修工事は、執務状態、改修部位、改修方法等により、分類できる。

## (1) 執務状態、改修部位、改修方法等による改修工事の分類



## (2) 執務状態の区分

改修工事は、工事期間における建物内の執務状況により、全館無人改修、執務並行改修に積算上区分することができる。

イ 全館無人改修：仮庁舎等が準備されている等、改修する建物全館が無人（執務者がいない）の状態で行う改修工事をいう。

ロ 執務並行改修：建物に執務者がいる状態で行う改修工事をいい、施工場所と執務中の場所が区画されている状態の工事も含まれる。また、増築工事においても既存建物と取り合う部分の改修工事については、既存建物の執務者の有無により分類する。

なお、執務並行改修の場合は、施工者が執務環境に配慮等しな

がら施工を行うことを前提として単価の補正を行う。

(3) 部位・方法の区分

改修工事は、上記執務状態の区分による二つの区分を下記のとおり更に細かく区分することができる。

イ 外部全面改修：建物の屋根、外壁等の全面を改修する場合をいう。

ロ 外部部分改修：建物の屋根、外壁等の小規模で部分的な改修及びそれらが点在する改修をいう。

ハ 内部全面改修：建物の内部全面を改修する場合をいう。

ニ 内部部分改修：部屋単位の床、壁、天井等の個別又は複合改修及びそれらが点在する改修をいう。間仕切り等の撤去・新設、又は設備改修等による取り合い周辺部分の改修をいう。

14 執務並行改修の場合の単価の補正

執務並行改修の場合は、施工業者が執務者に配慮等しながら施工を行うことを前提として単価の補正を行う。

15 改修工事の積算に用いる単価の種類

改修工事の積算に用いる単価の種類は次による。

(1) 基準単価

単価基準 第2編、第3編、第4編及び本運用に定められた標準歩掛りによる複合単価並びに市場単価及び補正市場単価のほか、参考歩掛り等による複合単価

(2) 基準補正単価

イ 建築工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の15%増しを標準とする。また、市場単価及び補正市場単価においては第3編第1章12の表A-1による補正率を標準として算定する。

ロ 電気設備工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の20%増しを標準とする。また、市場単価及び補正市場単価においては第3編第1章12の表E-1による補正率を標準として算定する。

ハ 機械設備工事については、標準歩掛りによる複合単価は労務の所要量の20%増しを標準とする。また、市場単価及び補正市場単価においては第3編第1章12の表M-1による補正率を標準として算定する。

ニ 著しく作業効率が悪い場合においては実状を考慮し労務費等を補正する。

16 改修工事の積算における単価の適用

単価の適用の標準は、全館無人改修の場合は基準単価を適用し、執務並行改修の場合においては表A-2、表E-2及び表M-2による。



## 単価及び価格

表A-2 執務並行改修の場合の単価適用区分

工 種	執務並行改修※	備 考
仮設	—	
土工	—	躯体関連工種
地業	—	〃
鉄筋	—	〃
コンクリート	—	〃
型枠	—	〃
鉄骨	—	〃
既製コンクリート	○	仕上関連工種
防水	○	〃
石	○	〃
タイル	○	〃
木工	○	〃
屋根及びびとい	○	〃
金属	○	〃
左官（仕上塗材仕上）	—	〃
左官（仕上塗材仕上以外）	○	〃
建具	○	〃
塗装（改修標仕仕様）	○	〃
内外装	○	〃
仕上ユニット	○	〃
構内舗装	—	外構関連工種
植栽	—	〃
仮設（改修）	—	改修関連工種
撤去	—	改修関連工種
外壁改修	—	改修関連工種
とりこわし	—	

※ —：基準単価、○：基準補正単価

## 単価及び価格

表E-2 執務並行改修の場合の単価適用区分

	工 種	執務並行改修 ※	備 考
共 通 工 事	配管工事	○	
	配線工事	○	
	接地工事（屋内）	○	
	接地工事（屋外）	—	
	塗装工事	○	
	機器搬入	○	
電 力 設 備 工 事	電灯設備	○	屋外の場合は、基準単価
	動力設備	○	
	雷保護設備	○	
	受変電設備	○	
	電力貯蔵設備	○	
	架空線路	—	
	地中線路	—	
情 報 信 設 ・ 備 工 事	構内交換設備	○	
	情報表示・拡声設備	○	
	誘導支援設備	○	
	テレビ共同受信設備	○	
	監視カメラ設備	○	
	火災報知設備	○	
改 修 工 事	撤去（再使用しない）	—	
	撤去（再使用する）	—	
	再取付	○	
	機器搬出	○	
	はつり工事	○	

注) 屋外、共同溝等においては原則として基準補正単価を適用しない

※ —：基準単価、○：基準補正単価

表M-2 執務並行改修の場合の単価適用区分

工 種	執務並行改修※	備 考
配管工事(屋内一般、機械室・便所)	○	屋上施工を含む
配管工事(屋外・共同溝)	—	
配管工事(地中)	—	
配管付属品	○	
保温工事	○	
塗装及び防錆工事	○	
機器搬入	○	
総合調整	○	
土工事	—	
コンクリート工事	○	屋内基礎等
機器類の据付	○	
ダクト設備	○	
ダクト付属品	○	
自動制御設備	○	歩掛りによる場合
衛生器具設備(ユニットを除く)	○	
樹類	—	
消火設備(特殊消火を除く)	○	歩掛りによる場合
配管分岐・合流・切断	○	
機器搬出	○	
はつり工事	○	
ダクト端部閉塞	○	
インバート改修	—	
撤去(再使用する)	—	
撤去(再使用しない)	—	
再取付け	○	

注) 配管工事は、はつり補修を除く。また、屋外、共同溝等においては原則として基準補正単価を適用しない

※ — : 基準単価、○ : 基準補正単価

## 17 改修工事の積算にあたっての留意事項

改修工事の積算にあたっては、実状又は施工条件明示事項等を考慮し、施工計画上必要となる仮設類の盛替え費用及び現場施工の制約を考慮した費用等を適切に積算する。また、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にする場合は、当該工事の施工条件を満たした内容であることを確認する。

## 18 単価及び価格における数値の取り扱い

予定価格のもととなる工事費を算出する過程における数値の取扱いは以下の通りとする。また、端数処理を行う場合は、原則として四捨五入とする。

## (1) 物価資料に基づく材料価格、材料単価及び仮設材料費、市場単価等の採用

イ 平均値を採用する場合の端数処理は有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。

ロ イの端数処理を行った結果、物価資料の掲載価格の方が有効桁が多い場合は、掲載価格の有効桁を採用する。

ハ 1つの物価資料にのみ掲載される場合は、掲載された価格をそのまま採用する。

ニ イの処理をする前の物価資料掲載価格、物価資料掲載価格の合算単価及び物価資料掲載価格の単位換算単価の端数処理は行わない。ただし、単位換算を行った結果、小数点以下第3位以降がある場合は小数点以下第2位とする。

## (2) 製造業者又は専門工事業者の見積価格等の採用

イ 採用する価格の端数処理については有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。

## (3) 標準歩掛り等（市場単価の補正含む）に基づく単価算定

イ 標準歩掛り等で算定した単価を標準歩掛り等に用いる場合は、小数点以下第2位まで算定した単価を代入する。

ロ 単価算定時における金額（数量×単価）の有効桁は、小数点以下第2位までとする。

ハ 単価算定に用いる数量に小数点以下第6位以降がある場合は、小数点以下第5位とする。

## (4) 細目別内訳書への単価及び金額の計上

イ 細目別内訳書に計上する単価で、標準歩掛り等より算出された単価は、1円までとする。

ロ 細目別内訳書に計上する金額は、円単位とし端数がでないよう数量又は単価を調整する。

ハ 別紙明細にて算定した金額は、細目別内訳書に円単位として一式計上する。

## 第2章 建築工事

### 第1節 新設工事

#### 第1項 仮 設

##### 1 一般事項

- (1) 仮設は、設計図書の記載に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。  
なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書等により記載内容が変更された場合とする。
- (2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。
- (3) 外部足場、内部足場は、手すり先行方式枠組本足場を標準とする。

##### 2 単価及び価格

###### (共通仮設)

###### (1) 仮囲い

イ 仮囲い鋼板にイメージアップのための塗装等が設計図書等に明示された場合は、塗装費を計上する。

###### (2) 仮設鉄板敷

イ 仮設鉄板敷の整備費は、基本料に加え通常の使用で発生する反り等の復旧に係る費用を含む。

###### (3) 移動式揚重機

イ 移動式揚重機に係る費用は、設置日数を別途算定し計上する。

ロ トラッククレーンを標準とする。ただし、4.9t吊を超え100t吊未満については、ラフテレーンクレーンとする。

###### (直接仮設)

###### (1) 遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付け

イ 鉄骨造の地上部は、表A1-1により単価の補正を行う。

ロ 鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造を標準とし、鉄骨造の墨出し及び養生・整理清掃後片付けを地下部分及び付帯部分（ドライエリア、ピロティ、ピット、外部階段、吹き抜け、バルコニー、外部廊下等）で使用する場合は、表A1-1と表A1-2により補正を行う。

ハ 工事を分割して発注する場合、遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付け分割割合は、表A1-3を標準とする。

###### (2) 枠組本足場

イ 枠組本足場は手すり先行工法等に関するガイドライン（H21.4.24基発第0424001号）による手すり先行方式を標準とする。

ロ 枠組本足場の設置の標準は、表A1-4を参考に選定する。

- ハ 一般的な事務庁舎等の外部足場の設計供用日数は、表A1-5の足場平均存置日数（建築面積750㎡程度）による。ただし、建築面積の大小による補正を表A1-6により行う。
- ニ 屋根工事を伴う場合は、勾配毎に、開口部での作業及び滑落並びに踏抜きのおそれのある屋根面積相当分を屋根足場として計上する。
- (3) 内部躯体足場
- イ 内部躯体足場（躯体支保工）は手すり先行工法等に関するガイドライン（H21.4.24基発第0424001号）による手すり先行方式を標準とする。
- ロ 内部躯体足場（鉄筋・型枠足場階高5.0m未満）を単独階のみで使用する場合は設計供用日数は、30日とする。
- (4) 内部仕上足場
- イ 内部仕上足場（枠組柵足場）は手すり先行工法等に関するガイドライン（H21.4.24基発第0424001号）による手すり先行方式を標準とする。
- ロ 内部仕上足場（脚立足場 階高4.0m以下）を単独階のみで使用する場合は設計供用日数は、30日とする。
- ハ 内部仕上足場を設置するにあたり、階高が4.0mを超える場合は、設置面の形状等により枠組柵足場（階高4.0m超）又は簡易型移動式足場を選択する。
- (5) 災害防止
- イ 外部足場等に架設される災害防止（金網、シート等）の存置期間は、足場平均存置日数から10日を減じた期間とする。
- ロ 安全手すりの存置期間は、表A1-5「足場平均存置日数」の階数1の日数とする。
- (6) 仮設材運搬
- イ 仮設材運搬用トラックの規格は4t積を標準とする。ただし、規模や敷地条件等により2t積も考慮できる。
- (7) その他
- イ 単価基準 第2編第1章第1節 表A1-1-21の転用階数とは、足場を転用しながら設置する延べ階数をいう。

表 A1 - 1

墨出し及び養生・整理清掃後片付けの建物構造による単価補正		
名称	鉄骨造（地上階）	備考
墨出し	80%	
養生・整理清掃後片付け	80%	

表 A1 - 2

墨出し及び養生・整理清掃後片付けの地下階及び付帯部分に使用する単価補正			
名称	一般	複雑	小規模
地下階	110%	110%	110%
ドライエリア、ヒート、大規模ヒート	80%	80%	80%（大規模ヒートを除く）
外部階段、吹抜け（柱・梁あり）	70%	70%	70%
バルコニー、外部廊下、吹抜け（その他）、ヒート	50%	50%	50%

表 A1 - 3

## 遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付けの分割割合

名称	分割発注		備考
	躯体まで	躯体・建具・外装まで	
遣方	100%	100%	
墨出し	40%	50%	
養生・整理清掃後片付け	40%	40%	

(注) 1. 分割した工事を合わせると、合計が100%を超えないようにする。

表 A1 - 4

## 枠組本足場の設置の標準

建枠寸法	板付布枠	規模・仕上げ
1200枠	500布枠×2枚	鉄筋コンクリート造外壁タイル等(6階建て以上)
900枠	500+240布枠	鉄筋コンクリート造外壁タイル等(5階建て以下)
		鉄筋コンクリート造外壁吹付け仕上げ程度(2階建て以上) 鉄骨造外壁パネル・スレート張り(2階建て以上)
600枠	500布枠×1枚	鉄筋コンクリート造外壁吹付け仕上げ程度(平家建て)
		鉄骨造外壁パネル・スレート張り(平家建て)

- (注) 1. 階高は、4 m程度とする。  
2. 建枠及び板付布枠の寸法単位は、mmとする。  
3. 地下階の外部足場は、建枠600枠、板付布枠500枠×1枚とする。

表 A1 - 5

## 足場平均存置日数(建築面積 750㎡程度)

階数	躯体、仕上げの一括発注	分割発注		備考
		躯体まで	サッシ取付まで	
1	98	54	70	
2	124	72	92	
3	150	90	114	
4	176	108	136	
5	202	126	158	
6	228	144	180	
7	254	162	202	
8	280	180	224	
9	353	250	310	
10	384	273	338	
11	415	296	366	
算定式(RC造)	26N+72	18N+36	22N+48	
算定式(SRC造)	31N+74	23N+43	28N+58	

- (注) 1. Nは階数を示す。  
2. 特殊な建物等(階高が著しく高く、コンクリート打設が2回以上になる等)の場合は、別途考慮する。  
3. 9階以上は、鉄骨鉄筋コンクリート造の算定式で計算した日数を表示している。

表 A1 - 6

建築面積の大小による補正係数				
建築面積(m <sup>2</sup> )	300	450	750	1000
対象範囲(m <sup>2</sup> )	～ 375 未満	375 ～ 575 未満	575 ～ 925 未満	925 ～ 1,250 未満
補正係数	0.90	0.95	1.00	1.05

建築面積(m <sup>2</sup> )	1500	2000	3000
対象範囲(m <sup>2</sup> )	1,250 ～ 1,875 未満	1,875 ～ 2,500 未満	2,500 ～ 3,750 程度
補正係数	1.10	1.20	1.30



---

## 第2項 土 工

### 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A2-1による。

### 2 単価及び価格

#### (1) 根切り

イ 施工範囲が狭院な部位で標準的な土工機械が搬入できない場合は、小規模土工を適用する。

#### (2) 埋戻し

イ 機械による施工が困難な場合は、人土工を適用する。

ロ 施工範囲が狭隘な部位で標準的な土工機械が搬入できない場合は、小規模土工を適用する。

#### (3) 盛土

イ 盛土が人力による場合は、単価基準 第2編第1章第2節 埋戻し人土工を適用する。

ロ 盛土には、標準仕様書による300mm程度毎の転圧（水締め共）を含む。

#### (4) 床付け

イ 根切りが機械施工の場合に計上する。

なお、人土工及び小規模土工による根切りには床付けが含まれているので計上しない。

#### (5) 杭間ざらい

イ 根切りを機械施工で行う場合に計上する。

なお、人土工の場合は根切りに含まれているので計上しない。

#### (6) 積込み

イ 人土工（積込み）は2tダンプトラック程度までとする。

ロ 積込みは、仮置き場に堆積した土をダンプトラックに積込む場合に適用する。

#### (7) 山留め

イ 山留めは、施工条件明示により物価資料の掲載価格又は専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

#### (8) 排水（水替え）

イ 排水（水替え）は、施工条件明示により物価資料の掲載価格又は専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

#### (9) 建設発生土運搬

イ 敷地内の指定された場所に仮置きする場合は、場内運搬を計上する。

ロ 運搬経路におけるDID区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認又は設計担当者との協議により判断し計上する。自動車専用道路料金は、設計図書に明記された場合に計上する。

ハ 自動車専用道路料金は、設計図書に明記された場合に計上する。

## (10) 建設発生土処理

イ 受入施設で土工機械が必要な場合は、土工機械運搬を計上する。

## (11) 軽油の価格

イ 土工事において掘削等のために使用される建設機械（ブルドーザー、トラクターショベル、パワーショベル、バックホウ、ドラグライン、クラムシェル等。）の軽油の価格は、軽油取引税を除いた価格を計上する。

## (12) その他

イ 埋戻し及び盛土で搬入土を使用する場合は、必要に応じて積込み及び運搬に係る費用を計上する。

表 A2 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	
根切り	山留め内 切梁あり	m <sup>3</sup>	
根切り	山留め内 切梁あり (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>	
根切り	山留め内 グラントアンカー (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>	
根切り	小規模土工	m <sup>3</sup>	
埋戻し	小規模土工 発生土	m <sup>3</sup>	
盛土	発生土	m <sup>3</sup>	
敷き均し	発生土 締固め共	m <sup>3</sup>	
積込み	発生土	m <sup>3</sup>	
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ+クラムシェル (分解組立共)	往復	
機械運搬費	小規模土工 片道30km以内 バックホウ	往復	

---

### 第3項 地 業

#### 1 単価及び価格

##### (1) 場所打ちコンクリート杭地業材料費

イ コンクリート材料単価は、単価基準によるほか、第5項による。

ロ 鉄筋資材単価及び鉄筋屑等のスクラップ単価は、単価基準によるほか、第4項による。

ハ 鋼材単価及び鋼材屑等のスクラップ単価は、単価基準によるほか、第7項による。

##### (2) 杭頭処理費

イ 杭径が600mmを超える既製コンクリート杭の杭頭処理費は、標準歩掛りを補正する。

ロ 場所打ちコンクリート杭の杭頭処理費は、人力施工及び人力積込みとする。ただし、杭本数が多い場合は機械積込みを考慮する。

ハ 特定埋込杭の杭頭処理において、杭頭を切断する場合は、単価基準 第2編第1章第3節 表A1-3-1による。

##### (3) 既製コンクリート杭杭頭補強

イ 杭径が600mmを超える杭頭補強は、標準歩掛りを補正する。

##### (4) 発生材処理

イ 建設汚泥を含む建設発生土は、他の建設発生土と区別して計上する。

##### (5) 捨コンクリート

イ コンクリート材料単価は、単価基準 第2編第1章第5節によるほか、第3編第2章第1節第5項による。ただし、構造体強度補正值によるコンクリート強度の補正を行わない。

## 第4項 鉄 筋

### 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A4-1による。

### 2 単価及び価格

#### (1) 鉄筋資材単価

イ スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

#### (2) 鉄筋加工組立

イ 現場加工となる場合は専門工事業者の歩掛りや見積価格等による。

ロ 表A4-1 鉄筋加工組立 S造床板は、鉄骨造で床板がデッキプレート等を使用したコンクリート床板の場合に使用する。

ハ 表A4-1 鉄筋加工組立 小型構造物は、雑工作物の擁壁、囲障基礎及び門等に使用する。ただし、連続する擁壁等を施工する場合は、市場単価の鉄筋コンクリート造壁式構造を適用する。

#### (3) 鉄筋運搬

イ 鉄筋運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により10t車も考慮できる。

表 A4 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
鉄筋加工組立	S造 床板	t	
鉄筋加工組立	小型構造物	t	

## 第5項 コンクリート

## 1 一般事項

- (1) 細目工種は、単価基準によるほか表A5-1による。  
 (2) 細目工種は、本運用 第3編第1章10によるほか表A5-2による。

## 2 単価及び価格

## (1) コンクリート材料単価

イ 設計基準強度（ $F_c$ ）の材料単価とする。

## (2) 構造体強度補正

イ 補正の対象となるコンクリート数量に、調合管理強度による材料単価と設計基準強度（ $F_c$ ）による材料単価の差額との積で算出した価格を計上する。

なお、調合管理強度とは、設計基準強度（ $F_c$ ）にセメントの種類及びコンクリートの打ち込みから材齢28日までの期間の予想平均気温に応じて定められた構造体強度補正值（ $S$ ）を加えた強度をいう。

表 A5 - 1 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
打設手間	く体コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
打設手間	く体コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
打設手間	S造スラブコンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 工作物の基礎等	m <sup>3</sup>	
打設手間	小型構造物コンクリート人力打設 擁壁、囲障の基礎等	m <sup>3</sup>	

表 A5 - 2 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
打設手間	均しコンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	
打設手間	防水押さえコンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	

## 第6項 型 枠

## 1 一般事項

- (1) 細目工種は、単価基準によるほか表A6-1による。
- (2) 細目工種は、第3編第1章10によるほか、表A6-2による。
- (3) 型枠材（丸パイプ及びパイプサポート類も含む）は型枠業者が回収する。
- (4) 型枠組立解体時に発生した鉄線、釘類及び端材の処理費は、共通仮設費の屋外整理清掃費に含まれる。

## 2 単価及び価格

## (1) 合板型枠

- イ 埋め殺しとなる場合は、市場単価及び補正市場単価を適用しない。
- ロ 型枠の転用率が低い場合等は、小型構造物用型枠を使用する。  
なお、連続する擁壁等を施工する場合は、市場単価及び補正市場単価の壁式構造（基礎部または地上軸部）を適用する。
- ハ 普通型枠にコーンを使用する場合、普通型枠にコーン及びコーン処理を加算する。

## (2) 型枠運搬

- イ 型枠運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により10t車も考慮できる。

## (3) その他

- イ 特殊な型枠を使用する場合は物価資料による掲載価格又は専門工事業者の見積価格等により算出する。

表 A6 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部B種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部C種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ~ 4.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>	
小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	

表 A6 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	

## 第7項 鉄 骨

### 1 一般事項

(1) 現場建て方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。

### 2 単価及び価格

#### (1) 鋼材単価

イ 鋼材単価は、販売価格又は市中価格による。

なお、実勢販売価格についてはエキストラ価格を加算する。

#### 【鋼材単価算出例】

SN400A CT-200×200×8×12 長さ18.5mの場合

ベース価格 H形鋼実勢販売価格（無規格200以下）

エキストラ価格 規格エキストラ（SN400A加算）

寸法エキストラ（長さ加算）

加工エキストラ（CT形鋼加算）等

上記のベース価格とエキストラ価格を加算する。

ロ ベース価格の区分は、表A7-1による。

ハ エキストラ価格は表A7-2により区分し、物価資料の掲載価格による。

ニ スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

#### (2) 工場加工組立

イ 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。

#### (3) 揚重機械器具

イ 第3編第2章第1節第1項により、共通仮設費に計上する。

ロ 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。

#### (4) 工場塗装

イ 専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第3編第1章3による。

#### (5) 高力ボルト・普通ボルト類

イ 締め付け費は、単価基準によるほか、協議会歩掛りによる。

#### (6) 現場溶接

イ 半自動アーク溶接機は、定格電流500Aを標準とし、機械損料1.50とする。

表 A7 - 1

ベース価格区分表			
鋼材種別	適用条件	市中価格	実勢販売価格
H形鋼 溝形鋼 I形鋼 等辺山形鋼 外法H形鋼	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
		—	
不等辺山形鋼 平鋼 軽量形鋼	数量にかかわらず	全ての規格品	—
		SSC400相当品	
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品

表 A7 - 2

エキストラ価格区分表	
鋼材種別	対象エキストラ
H形鋼 外法H形鋼	1. 規格エキストラ 2. 寸法エキストラ（長さ・サイズ・極厚） 3. 加工エキストラ（CT形鋼・ショット）
鋼板	1. 規格エキストラ 2. 寸法エキストラ（幅・長さ・厚み） 3. 輸送エキストラ 4. 特別仕様エキストラ
溝形鋼	1. 規格エキストラ 2. 寸法エキストラ
等辺山形鋼 鋼板（切板）	1. 規格エキストラ



## 第8項 既製コンクリート

### 1 単価及び価格

#### (1) コンクリートブロック帳壁

イ 単価基準の内壁コンクリートブロック帳壁及び外壁コンクリートブロック帳壁は、縦遣方、モルタル充填及び鉄筋等も含む。

## 第9項 防 水

## 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A9-1、表A9-2による。

## 2 単価及び価格

## (1) アスファルト防水

イ 防水押え金物は、市場単価に含まれていないため、別途計上する。

表 A9 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-1 断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-1 断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-2 断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	

表 A9 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
シーリング	PS-2ボ <sup>®</sup> リカルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	PS-2ボ <sup>®</sup> リカルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ <sup>®</sup> リウルタン(2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ <sup>®</sup> リウルタン(2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅15×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン(1成分形)防かびタイプ 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅30×深さ10	m	

---

## 第11項 タイル

### 1 単価及び価格

#### (1) 外装壁タイル張り

イ 外装壁タイル張りは、専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、施工規模等を勘案して参考歩掛り 表RA-11-1～表RA-11-5によることができる。

#### (2) 壁タイル先付け

イ PC版にタイルを先付けする場合は、科目別内訳書のタイルのタイル材のみを計上し張り手間はPC版にて計上する。

### 第13項 屋根及びとい

#### 1 単価及び価格

##### (1) 長尺金属板葺

イ 専門下事業者の見積価格等を参考にする。ただし、施工規模等を勘案して参考歩掛り 表RA-13-1 によることができる。

## 第14項 金 属

## 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A14-1、表A14-2による。

## 2 単価及び価格

## (1) 屋内天井下地補強

イ 天井のふところ高さが1.5m以上の場合は、特記に応じた補強の費用を単価基準 第2編第1章第14節 表A1-14-5 軽量鉄骨天井下地に加算する。

表 A14 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @225 ふところ高 1.0m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	

表 A14 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 W1200×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 W1200×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 W900×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 W1200×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 W1800×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	ﾀﾞｸﾞ等四方補強 スタッド 65形 W200×H400mm程度	か所	
壁下地開口補強	ﾀﾞｸﾞ等四方補強 スタッド 90形 W200×H400mm程度	か所	
壁下地開口補強	ﾀﾞｸﾞ等四方補強 スタッド 100形 W200×H400mm程度	か所	
壁下地開口補強	ﾀﾞｸﾞ等四方補強 スタッド 100形 W300×H600mm程度	か所	
壁下地開口補強	ﾀﾞｸﾞ等四方補強 スタッド 100形 W450×H900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 150×150mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 900×900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 1300×1300mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 300×2500mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 150×150mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×300mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 900×900mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 1300×1300mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×1200mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×2500mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×3600mm程度	か所	

## 第15項 左 官

## 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A15-1による。

## 2 単価及び価格

## (1) 各種モルタル塗り

イ 塗り厚さや塗り幅、塗り高さが著しく異なる場合は、材料及び塗り回数による補正を行う。

表 A15 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
床モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	木ごて 厚22 エットタイル下地	m <sup>2</sup>	
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	
幅木モルタル塗り	金ごて H300 出幅木	m	
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅100 戸当り無し	m	
壁モルタル塗り	金ごて 厚25 外壁 3回塗り	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	木ごて 内装タイル改良積上張り下地	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚20 内壁	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚25 外壁	m <sup>2</sup>	
笠木モルタル塗り	パラペット 金ごて 糸幅500程度	m	
笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅340程度	m	
窓台モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	
膳板モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	

## 第16項 建 具

## 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A16-1～表A16-3による。

## 2 単価及び価格

## (1) 金属製建具

イ 製品代をカタログまたは物価資料の掲載価格による場合は、取付手間は、参考歩掛り 表RA-16-1～表RA-16-5によることができる。

## (2) ガラス

イ ガラスとめ材にガスケットを使用する場合は、参考歩掛り 表RA-16-19によることができる。

ロ ガラスのとめ材の数量は、個々のガラスの周長とする。ただし、ガラスの形状が正方形又は長方形等の成形の場合は、表A16-2による。

表 A16 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
網入り型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81㎡以下	㎡	
網入りみがき板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸4.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚6mm 特寸2.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚6mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚8mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚10mm 特寸4.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚12mm 特寸4.0㎡以下	㎡	



表 A16 - 2

## ガラスの大きさと㎡当たり周長

ガラスの規格 (㎡以下)	0.74	2.18	4.45	6.81	9.09	11.36
平均周長 (m/㎡)	4.65	3.38	2.23	1.71	1.43	1.25

表 A16 - 3 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
フロント板ガラス	厚10mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロント板ガラス	厚10mm 特寸6.81㎡以下	㎡	
網入りみがき板ガラス	厚10mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
網入りみがき板ガラス	厚10mm 特寸6.81㎡以下	㎡	

## 第17項 塗 装

## 1 一般事項

(1) 細目工種は、表A17-1～A17-9による。

## 2 単価及び価格

## (1) 仕上げ塗料塗り

イ 単価基準及び本運用に定めのない細幅物（糸幅300mm以下）の単価を作成する際は、 $m^2$ 単価に「0.4（係数）」を乗じて算定する。

表 A17 - 1 補正市場単価（標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内（仕様：第8節）	水系	B種	$m^2$
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途	A種	B種	$m^2$
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面屋内外 素地ごしらえ別途	A種	B種	$m^2$
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	$m^2$
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	$m^2$
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	$m^2$
EP塗り（合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	$m^2$
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	$m^2$
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	$m^2$
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	$m^2$

## 塗 装

表 A17 - 2 補正市場単価（標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 錆止別途			m <sup>2</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>
CL塗り (クリアラッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
CL塗り (クリアラッカー塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部	1種	A種(屋外)	m
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m
CL塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m

表 A17 - 3 補正市場単価（標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部 セラックニス		A種(屋内)	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	モルタル及びプラスター面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	モルタル及びプラスター面 (付着物の除去)			m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>

表 A17 - 4 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単 位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	A種	A種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	A種	B種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内外）塗替え面	A種	C種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面	A種	A、B種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	水系	A種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	水系	B種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内）塗替え面	水系	C種	m <sup>2</sup>
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内）新規面	水系	A、B種	m <sup>2</sup>

## 塗 装

表 A17 - 5 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
CL塗り (クリアラッカー塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
CL塗り (クリアラッカー塗り)	木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
LE塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
OS塗り	木部 付着物除去とも(塗替え面)			m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP塗り(合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>

## 塗 装

表 A17 - 6 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エポキシペ 外塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>

## 塗 装

表 A17 - 7 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部	1種	B種	m
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部	1種	C種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エポキシペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エポキシペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エポキシペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替え面) 木部		B種	m
CL塗り（クリアラッカー塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		A種	m
CL塗り（クリアラッカー塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替え面) 木部		B種	m
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		A種	m
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替え面) 木部		B種	m
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下(付着除去 塗替え面) 木部			m

表 A17 - 8 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋内)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）セラックニス		RA種(屋内)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（新規面）		RA種(屋内)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（新規面）セラックニス		RA種(屋内)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（新規面）		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面 付着物除去			m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>

## 塗 装

表 A17 - 9 補正市場単価（改修標仕仕様）

細 目	摘 要			単 位
	下地種類等	塗装種別	作業工程 (塗り回数)	
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	ボード面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	ボード面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	ボード面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	ボード面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	ボード面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>



## 第18項 内外装

### 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A18-1～A18-6による。

### 2 単価及び価格

#### (1) 床仕上げ材張り

イ 完成時の清掃及び樹脂ワックス掛けは直接仮設の整理清掃後片付けに含む。

#### (2) 壁せっこうボード張り

イ 継目処理工法による施工の場合は、突付け工法に対して単価基準 第2編第1章第18節 表A1-18-9のせっこうボード継目処理の単価を加算する。

#### (3) 壁紙張り

イ 壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

#### (4) 天井壁紙張り

イ 天井壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

表 A18 - 1 補正市場単価（内装床材類）

細 目	摘 要	単 位	備 考
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m <sup>2</sup>	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m <sup>2</sup>	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m <sup>2</sup>	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT 多湿部	m <sup>2</sup>	
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m <sup>2</sup>	
ビニル幅木（ソフト幅木）	H=75mm	m	
ビニル幅木（ソフト幅木）	H=100mm	m	

表 A18 - 2 補正市場単価（内装床材類）

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=60mm	m	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=75mm	m	
稲妻ビニル幅木 (ワト幅木)	H=100mm	m	

表 A18 - 3 補正市場単価（壁せっこうボード張り）

細目	摘 要	単位	備 考
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 継目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シーズングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 シーズングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	

細目	摘要	単位	備考
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 シーズンがせつこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 強化せつこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 強化せつこうボード張り	厚15.0mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 強化せつこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 強化せつこうボード張り	厚21.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 強化せつこうボード張り	厚21.0mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
壁 強化せつこうボード張り	厚21.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 吸音用穴あきせつこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ6-22	m <sup>2</sup>	
壁 せつこうラスボード張り	厚9.5mm 下地張り	m <sup>2</sup>	

表 A18 - 4 補正市場単価 (壁けい酸カルシウム板張り)

細目	摘要	単位	備考
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	

表 A18 - 5 補正市場単価（天井せっこうボード張り）

細 目	摘 要	単 位	備 考
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
天井 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井吸音用穴あきせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃（不燃紙裏打ち） 突付け 穴φ6-22	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 継目処理	m <sup>2</sup>	
天井 シーリングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井 化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け トラバーチ	m <sup>2</sup>	

表 A18 - 6 補正市場単価（天井ボード張り）

細目	摘要	単位	備考
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せつこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地ジーンゲせつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地ジーンゲせつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せつこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せつこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地ジーンゲせつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地ジーンゲせつこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	

## 第2節 改修工事

### 第1項 仮設(改修)

#### 1 一般事項

- (1) 仮設は、設計図書等に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。  
 なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書等により記載内容が変更された場合とする。
- (2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。
- (3) 外部足場は、設計図書による。

#### 2 単価及び価格

- (1) 養生・整理清掃後片付け  
 (内部改修)

イ 塗装塗り替え程度は、単価基準のほかに既存仕上げ材(モルタルやボード等)を撤去せずに塗装材の改修をする場合も適用する。

- (2) 枠組本足場

イ 外壁改修等で外部足場を使用する場合には、単価基準 第2編第1章第1節による。

ロ 枠組本足場の設置の標準は、表A22-1を参考に選定する。

ハ 枠組本足場の設計供用日数は、施工条件明示により算定する。

- (3) 災害防止

イ 外部足場に、災害防止が必要な場合は単価基準 第2編第1章第1節による。

ロ 災害防止の設計供用日数は、施工条件明示により算定する。

- (4) 内部仕上足場

イ 内部仕上足場は、「脚立足場 階高4.0m以下」を標準とする。ただし、階高が高い(階高4.0m超)部位の改修等の場合は、単価基準 第2編第1章第1節による。

表 A 22 - 1

枠組本足場の設置の標準		
建枠寸法	板付布枠	規模・仕上げ
1200枠	500布枠×2枚	外部改修(タイル、モルタルはつり補修程度)(3階建て以上)
900枠	500+240布枠	外壁改修(吹付け、ピンニング程度)(3階建て以上) 外部改修(タイル、モルタルはつり補修程度)(2階建て以下)
600枠	500布枠×1枚	外壁改修(吹付け、ピンニング程度)(2階建て以下) 防水改修等で昇降用に設置する足場

(注) 1. 階高は、4m程度とする。

2. 建枠及び板付布枠の寸法単位は、mmとする。

## 第2項 撤 去

### 1 単価及び価格

#### (1) コンクリート撤去

- イ 既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ 施工条件によっては、人力も考慮する。
- ハ 防水押えコンクリート撤去の場合は、撤去後の下地に付着しているコンクリート残存物等のケレン及び清掃を含む。

#### (2) れんが撤去

- イ コンクリートブレーカによる撤去を標準とする。既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ 施工条件によっては、人力も考慮する。

#### (3) CB撤去

- イ コンクリートブレーカによる撤去を標準とする。既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ 施工条件によっては、人力も考慮する。

#### (4) 金属製建具撤去

- イ 建具周囲のはつり及びカッター入れの計上に留意する。
- ロ 単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-37には、建具周囲はつり及びカッター入れは含まれていない。

#### (5) ガラス撤去

- イ 単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-39には、ガラス廻りシーリングの撤去を含む。

#### (6) 天井合板・ボード撤去

- イ せっこうボードごと他のボードを分けて撤去する場合は、1重張りを2回計上する。

#### (7) 既存防水層撤去

- イ 単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-45は、既存防水層撤去後の下地に付着している防水層残存物等のケレン及び清掃を含む。

#### (8) 空気圧縮機運搬

- イ 撤去に空気圧縮機が必要な場合は、空気圧縮機運搬を計上する。

#### (9) 建設発生材運搬

- イ 運搬経路におけるDID区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認又は設計担当者との協議により判断し計上する。

#### (10) 建設発生材処分

- イ 建設発生材処分は、産業廃棄物処理業者の見積価格等を参考にする。



---

### 第3項 防水改修

#### 1 単価及び価格

##### (1) 防水層の新設

イ 単価基準 第2編第1章第9節によるほか、第3編第2章第1節第9項による。

##### (2) 防水保護層新設

イ コンクリート打設は、単価基準 第2編第1章第5節によるほか、第3編第2章第1節第5項による。

---

## 第4項 外壁改修

### 1 単価及び価格

#### (1) 施工数量調査

イ 調査内容は、足場等を使い壁面の直近で行う目視及び打診調査をいい、その報告書の作成を含む。

#### (2) 既存塗膜除去

イ 既存塗膜除去は、単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-44による。

#### (3) 各種外装材新設

イ タイル及び下地材については単価基準 第2編第1章第8節から第15節及び第17節から第19節によるほか、第3編第2章第1節第14項、第15項及び第17項、第18項による。

---

## 第5項 建具改修

### 1 単価及び価格

#### (1) 木製建具、金属製建具及びガラス

イ 単価基準 第2編第1章第16節によるほか、第3編第2章第1節第16項による。

#### (2) 建具廻りシーリング

イ 単価基準 第2編第1章第9節によるほか、第3編第2章第1節第9項による。

---

## 第6項 内装改修

### 1 単価及び価格

#### (1) 各種内装材新設

イ 各種ボード等及び下地材については単価基準 第2編第1章第8節から第15節及び第17節から第19節によるほか、第3編第2章第1節第14項、第15項及び第17項、第18項による。

---

## 第7項 塗装改修

### 1 単価及び価格

#### (1) 既存塗膜除去

イ 既存塗膜除去は、単価基準 第2編第2第2節 表A2-2-44による。

#### (2) 下地調整

イ 下地調整は、第3編第2章第1節第17項 表A17-8及び表A17-9による。

なお、既存塗膜除去したあとの下地調整の単価である。

#### (3) 錆止め塗装

イ 錆止め塗装は、第3編第2章第1節第17項 表A17-4による。

#### (4) 仕上げ塗料塗り

イ 仕上げ塗料塗りは、第3編第2章第1節第17項 表17-5～表17-7による。

ロ 単価基準及び本運用に定めのない細幅物（糸幅300mm以下）の単価を作成する際は、 $m^2$ 単価に「0.4（係数）」を乗じて算定する。

## 第8項 耐震改修

### 1 一般事項

(1) 細目工種は、表A23-1及び表A23-2による。

### 2 単価及び価格

#### (1) 鉄筋工事

イ 第3編第2章第1節第4項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。

#### (2) コンクリート工事

イ 第3編第2章第1節第5項による。

#### (3) 型枠工事

イ 型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。

ロ 型枠運搬の細目工種は、第3編第2章第1節第6項による。

#### (4) 鉄骨工事

イ 第3編第2章第1節第7項による。

表 A 23 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	

表 A 23 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単 位	備 考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>	

## 第3章 電気設備工事

### 第1節 新設工事

#### 第1項 共通工事

##### 1 一般事項

- (1) 補正市場単価は、第3編第1章2により算出し、その算定式は附表E1～附表E37による。

##### 2 単価及び価格

###### (1) 配管工事

- イ 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-1による。
- ロ 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、付属品、雑材料及び配管等の施工上の迂回等を含む。
- ハ ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合）に適用する。
- ニ 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。
- ホ B S形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の労務の所要量は、割増しを行わない。
- ヘ 1種金属線びの付属品及びボックス類は、別途計上する。
- ト 金属ダクト及び金属トラフの吊り金具等の支持材は、別途計上する。
- チ 電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を加算する。

###### (2) 配線工事

- イ 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-2による。
- ロ 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料及び電線等の施工上の迂回等を含む。
- ハ 2種金属線びに收容する配線工事の労務の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。
- ニ 波付硬質合成樹脂管及び線び類については、導入線を計上しない。
- ホ 低圧ケーブルで、合成樹脂モールド工法等の特別な工法を用いる場合は、ケーブル接続材料を別途計上する。
- ヘ 600Vポリエチレンケーブル及び高圧架橋ポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2C、トリプレックス形は3C、カドラプレックス形は4Cの労務の所要量を適用する。
- ト 光ファイバケーブル敷設のためのクロージャ－及び成端箱の材料費及び施工費は、別途計上する。
- チ 着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM-FCPEE）及び市内対ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM-CPEE）の1Pから3Pの歩掛りは、表E1-1-15の2C～6Cの労務の所要量を準用する。

リ ライティングダクトの支持材料及び付属品は、別途計上する。

(3) 接地工事

イ 接地工事の細目工種は、単価基準によるほか表E 1-3による。

ロ 接地極の埋設位置には、単価基準 第3編第1章第1節 表E 1-1-29 接地極埋設標を計上する。ただし、電柱及び屋外灯の場合並びにマンホール及びハンドホールの接地極は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-39 接地抵抗測定を計上し、接地極埋設標は計上しない。

(4) 塗装工事

イ 塗装は材料の表面積を対象とし、塗り回数など重複計上しない。

ロ 外灯用ポール等を現地塗装する場合は、特記のある場合のみ計上する。

(5) 機器搬入

イ 搬入機器の質量及び容積は、原則として図面特記または機器見積りを参考として算定する。

ロ 分割搬入する機器は、分割時の各部材を単体機器として質量及び容積の算定を行う。

(6) 土工事等

イ 土工及び舗装等において建設機械を使用する場合は、現場作業の連続性を鑑み、当該機械の運搬費を単価基準 第2編第1章第2節及び20節により計上する。



## 共通工事(電気設備)

表E1-1 補正市場単価【配管工事】

細目	摘要	単位
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい、露出配管16～82	m
ケーブルラック	トレー形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 200～600 (1段目及び2段積の2段目)	m
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400～1000BS	m
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200～1000A、400～1000B 支持材別途(共同溝内敷設)	m
ケーブルラック	はしご形 ZM35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200～1000A、400～ 1000B支持材別途(共同溝内敷設)	m
ケーブルラック	はしご形 Z35(溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A～1000A、400～1000B (1段目及び2段積の2段目)	m
ケーブルラック	はしご形 Z35(溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A～1000A、400～1000B (1段目及び2段積の2段目) 支持材別途(共同溝内敷設)	m
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m

## 共通工事(電気設備)

表E1-2 補正市場単価【配線工事】

細目	摘要	単位
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)管内配線 1.0~2.6mm	m
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)管内配線 2~3.5mm <sup>2</sup> 、150~325mm <sup>2</sup>	m
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 1.0~2.6mm	m
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 2~3.5mm <sup>2</sup> 、150~325mm <sup>2</sup>	m
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線(HIV)管内配線 1.2~325mm <sup>2</sup>	m
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE)PF及びCD管内配線 1.0~325mm <sup>2</sup>	m
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)PF及びCD管内配線 1.0~325mm <sup>2</sup>	m
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線(HIV)PF及びCD管内配線 1.2~325mm <sup>2</sup>	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カールブランク含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カールブランク含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) PF及びCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m

## 第2項 電力設備工事

### 1 一般事項

- (1) 各種電力機器取付け及び屋外管路に適用し、機器への配管・配線は第1項を適用する。

### 2 単価及び価格

#### (1) 電灯設備

- イ 耐熱形分電盤は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-15を適用する。
- ロ O A盤は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-15で算出した人員を、修正表を用いて算定した適用人員と、単価基準 第3編第1章第3節表E1-3-1で算出した労務の所要量を加算する。
- ハ 分電盤等の予備回路及び予備スペースに対する労務の所要量は、当該労務の所要量の50%とする。
- ニ リモコンリレー、ターミナルユニット等を壁面及び天井内に取付ける場合は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-4を適用し、分電盤類等に組込む場合は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-16を適用する。
- ホ 直管形LED照明器具は単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-10、電球形LED照明器具は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-11を適用する。

#### (2) 動力設備

- イ 制御盤に単位装置がない回路は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-15の労務の所要量を適用し加算する。
- ロ 負荷が接続されない回路（警報用・操作用含む）に対する労務の所要量は、当該労務の所要量の50%とする。
- ハ 制御盤に自動または手動交互運転制御回路がある場合は、当該労務の所要量の150%とする。
- ニ 警報盤は、単価基準 第3編第1章第3節表E1-3-7を適用する。

#### (3) 雷保護設備

- イ 導線の労務の所要量は支持金具の取付けを含み、水平導体及びメッシュ導体の労務の所要量は支持ボルトの取付けを含むが、支持金具及び支持ボルトは必要数を計上する。

#### (4) 受変電設備

- イ スコット変圧器は、三相変圧器の労務の所要量を適用する。
- ロ 前面保守形配電盤（薄形）は、単価基準 第3編第1章第2節表E1-2-21の労務の所要量を補正して適用する。  
なお、受配電盤及びコンデンサ盤は、普通作業員の70%、低圧盤及び変圧器盤は電気及び普通作業員の50%を労務の所要量とする。
- ハ 油入変圧器500KVA以上、モールド変圧器150KVA以上の場合は、ダイヤル温度計を加算する。また、必要に応じて移動車輪及び防振ゴムを加算する。
- ニ 高圧コンデンサの労務の所要量は、放電コイルが付属している場合も適用する。

---

ホ 高圧機器は1個の労務の所要量を示すので、計器用変流器（CT）など2個1組の場合は歩掛りを2倍する。

(5) 地中線路

イ 掘削及び埋戻しは別途計上する。

---

### 第3項 通信・情報設備工事

#### 1 一般事項

(1) 各種通信・情報機器取付けに適用し、機器への配管・配線は第1項を適用する。

#### 2 単価及び価格

##### (1) 構内交換設備

イ 集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。

##### (2) 構内情報通信網設備

イ 光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル(UTP)の端部にコネクタ・プラグユニット等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

##### (3) 情報表示・拡声設備

イ アナログ子時計が天井吊下形またはブラケット形の場合は、壁掛形の労務の所要量を適用する。

##### (4) 誘導支援設備

イ トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-7を適用する。

ロ テレビインターホンは、単価基準 第3編第1章第3節表E1-3-8を適用する。

##### (5) 火災報知設備

イ 防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁及び排煙口等への接続は、結線費を計上する。

## 第2節 改修工事

### 1 共通事項

#### (1) 単価の適用

イ 外構関連(架空線路、地中線路、接地工事)及び撤去に関しては改修工事の分類に関係なく原則は割増しを行わない。

#### (2) 仮設

イ 高所作業の足場、仮設間仕切り、養生及び清掃が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

#### (3) 調査

イ 非破壊検査、絶縁油調査及び既設配管・配線等の敷設状況の現況調査が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

#### (4) 電力設備工事、通信・情報設備工事

イ 取外し再取付けの労務の所要量は、取外し品を破損することなく再使用できる状態を保って丁寧に取外すものであり、取外し品の簡単な清掃も含まれている。

ロ 一時的な取外し再取付けや、照明器具の改修工事等で、既設位置への取付けの場合で、墨出しの軽減や既存吊りボルトの活用が可能な場合は、雑材料及び労務の所要量を実状に応じて低減することができる。

ハ 主要機器の取外し再取付けを行う場合で、施工後に全体的なシステム調整を要するものは、別途総合試験調整費を計上する。

### 2 仮設備工事

停電及び設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、仮設備を計上する。

#### (1) 配管・配線等

仮設の配管・配線等の単価は、原則として全損扱いとし、複合単価又は市場単価を計上する。ただし、仮設期間が短期間(3ヶ月未満程度)で同一業者が撤去することとなり、用途及び現場条件から再使用品(転用品)の使用が可能な場合、仮設の配管等の単価は、複合単価又は市場単価を70%程度低減し算定することとするが、再使用が困難な分岐電線・ケーブル及び合成樹脂管等の材料については、全損として計上しても良い。また、撤去にあたっては、公共建築工事標準単価積算基準の当該事項に基づきその費用を計上する。

なお、仮設に使用する配管、配線等については、新品を使用し全損とすること、又は、再使用品(転用品)の使用が可能なことを特記する。

## 改修工事(電気設備)

(2) 仮設備配管・配線等の単価作成例を表E2-5及び表E2-6に示す。

表E2-5 ねじ無し電線管(EP)(市場単価)

ねじ無し電線管	EP 19mm	隠ぺい			1 mあたり	590円
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
ねじなし電線管	EP19mm 隠ぺい	m	1	840	840	①
計					840	②
低 減 単 価	市場単価×70%				588	③ ②×0.7

表E2-6 600Vポリエチレンケーブル「標準単価積算基準」表E1-1-7

600Vポリエチレンケーブル	EM-CE60mm2-3C	管内配線			1 mあたり	2,880円
名 称	摘要・規格	単位	所要量	単 価	金 額	備 考
600Vポリエチレンケーブル	EM-CE60mm2-3C	m	1.05	2,080	2,184	①
雑 材 料	(材)×5%	式	1		109.2	② ①×0.05
電 工		人	0.082	19,200	1,574.4	③
そ の 他	(材)×16%	式	1		251.9	④ ③×0.16
計					4,119.9	⑤
低 減 単 価	複合単価×70%				2,883.65	⑥ ⑤×0.7

(3) 原則として見積り等による賃借料をもって仮設材費とするものは次による。

- イ 変圧器類
- ロ 発電機類
- ハ 配電盤類
- ニ 通信・情報機器類
- ホ その他の仮設備機器

(4) 仮設備を運転するに当たって、燃料が必要な場合は別途計上する。

---

## 第1項 撤去

### 1 一般事項

(1) 撤去、改修（取外し及び再取付け）に区分して計上する。

### 2 単価及び価格

#### (1) 撤去工事

イ 単価基準 第3編第2章第1節表E2-1-2～表E2-1-13に記載のない撤去工事の労務の所要量は、単価基準 第3編第2章第1節表E2-1-1の対応する、名称区分毎の新設工事の労務歩掛りに対する率を乗じて算出する。

#### (2) 取外し及び再取付け工事

イ 取外し及び再取付けを行う場合は、製品等に対応する工種の「その他」の率を適用する。

#### (3) 電力設備

イ 分電盤・制御盤等の既存ブレーカに電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

#### (4) 通信・情報設備

イ 通信機器等の既存端子に電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

#### (5) 発生材処理

イ 発生材の積込み、運搬及び処分に適用する。

ロ 発生材処分品は引渡しを要するもの以外とし、再生資源化を図るものとそれ以外で分類し計上する。



---

## 第2項 機器搬出

### 1 単価及び価格

- (1) 分割搬出する機器は、分割時の各部材を単体の機器としての質量及び容積の算定を行う。
- (2) 大型機器の撤去において一体で搬出できない場合は、分割するための切断費または分解費を計上する。

---

### 第3項 はつり工事

#### 1 単価及び価格

- (1) コア抜き及び溝はつり等を行う場合に適用し、労務の所要量には補修を含む。
- (2) 単価基準のはつり工の労務の所要量は、コンクリート壁貫通口、コンクリート壁貫通面積、溝はつり幅×深さの各項目の直近上位の値を採用する。

## 第4章 機械設備工事

### 第1節 新設工事

#### 第1項 共通工事

##### 1 一般事項

- (1) 補正市場単価は、第3編第1章2市場単価の補正により算出し、その算定式は附表M1～附表M13による。

##### 2 単価及び価格

###### (1) 配管工事

- イ 外壁や屋上の配管は、「屋内一般配管」として扱い、配管支持架台は別途計上する。
- ロ 屋内の地中埋設配管は、施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。
- ハ 配管の基準単価は、定尺の管単価を定尺長さで除したものとする。
- ニ 次の配管の歩掛りは、協議会歩掛りによる。
- ・給水塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)  
(単価基準 表M1-1-9以外の施工箇所)
  - ・給水ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PD)  
(単価基準 表M1-1-3以外の施工箇所)
  - ・給湯耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP)  
(給水耐熱陸硬質塩化ビニル管 (HTVP) を準用)
  - ・プロパン・消火・排水ポリエチレン被覆鋼管
  - ・水道用ポリエチレン管
- ホ 特記仕様書等にて、複数の使用管材や接合方法が併記されている場合は、口径毎に安価な単価を用いる。
- ヘ 外壁から第一拵までの排水管は屋内扱いとし、上流部の建物内の施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。

###### (2) 配管付属品

- イ 耐火二層管において、特記により伸縮管継手を設置する場合はその伸縮管継手(材工共)を別途計上する。また、必要に応じ、配管固定金物を別途計上する。  
なお、伸縮管継手の歩掛りは同一呼び径のバタフライ弁に準ずる。
- ロ メカニカル形ステンレス鋼弁の歩掛りは、仕切弁の歩掛りの配管工の所要数を80%として準用する。

###### (3) 保温工事

- イ 保温工事の細目工種は、参考歩掛り及び表M1-1～表M1-3による。
- ロ 断熱材被覆銅管用保温外装は、協議会歩掛りによる。

## (4) 塗装及び防錆工事

イ 単価基準の「文字標識等」において「建物延べ面積」は、事務庁舎に対する数値であり、研究所等のように空調及び衛生等の機器が事務庁舎に比較して多いときは、割増しを考慮する。

## (5) 機器搬入

イ 分割して搬入する機器は、分割時の各部材を1個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。

ロ 機器の質量及び容積は、価格算定時に参考とした製造業者の値とする。

ハ 契約図書で単価基準 表M1-1-68に設定される揚重機16tでは不足する条件が明示される場合、搬入基準単価から揚重機分を差し引き、適切な揚重機の所要量を別途に計上する。

## (6) 総合調整

イ パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空気調和機は、総合調整費の算定対象としない。

ロ 主機械室が無く、熱源機器を屋上露出にて設置する場合も、主機械室内機器として扱う。

ハ 総合調整費の算定対象としない配管系統は、単価基準 表M1-1-72によるほか、空気抜管、排水通気管、ドレン管、水抜管及び膨張管並びに弁装置のバイパス管とする。

総合調整費の算定対象とする配管系統は、冷水管、温水管、冷温水管、冷却水管、蒸気(空調)管(低圧蒸気管、高圧蒸気管、還水管等)、高温水管及びブライン管とする。

また、直接暖房用の蒸気配管は、総合調整費の対象とはなっていないが、空調熱源用等を兼用している蒸気配管は総合調整費の対象とする。

ニ 各階機械室内機器の総合調整費として、コンパクト形空気調和機を算定対象とする。

## (7) ポンプ類

イ 小型給水ポンプユニットの据付け歩掛りには、2台のポンプ、加圧タンク、制御盤を含んでいるものとする。なお、ポンプ台数が2台以外の場合は、ポンプ台数の比率により据付け歩係りの補正を行うものとする。

## (8) 土工事

イ 機械土工を使用する場合は、バックホウ等の運搬費を参考歩掛り 別表RA-2-39-1により計上する。

## (9) コンクリート工事・その他

イ 機器用基礎、柵類以外のコンクリート工事は、参考歩掛り 表RA-5-8による。

## 共通工事(機械設備)

表M1-1 補正市場単価 保温工事(配管)【グラスウール】

細目	施工場所	仕様	単位	備考
給水管・排水管・給湯管及び温水管(膨張管を含む)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
冷水管・冷温水管(沖縄地区等)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
蒸気管(0.1MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
蒸気管(0.1MPa以上0.6MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
蒸気管(0.6MPa以上1.0MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m m	
冷媒管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ビット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ステンレス鋼板	m m m	

## 共通工事(機械設備)

表M1-2 補正市場単価 保温工事(配管)【ロックウール】

細目	施工場所	仕様	単位	備考
給水管・排水管・給湯管 及び温水管(膨張管を含む)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井及びパイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
	冷水管・冷温水管(沖縄地 区等)	屋内露出	合成樹脂カバー	m
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
天井及びパイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	
暗渠内(ピット内を含む)		着色アルミガラスクロス	m	
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)		カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
蒸気管(0.1MPa未満)		屋内露出	合成樹脂カバー	m
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
蒸気管 (0.1MPa以上0.6MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
蒸気管 (0.6MPa以上1.0MPa未満)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷媒管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
		着色アルミガラスクロス	m	
	天井及びパイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室 及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	

## 共通工事(機械設備)

表M1-3 補正市場単価 保温工事(配管)【ポリスチレンフォーム】

細目	施工場所	仕様	単位	備考
給水管・排水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
ステンレス鋼板		m		
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水管・冷温水管 (沖縄地区等)	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水管(冷水取水管)	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
ブライン管	屋内露出	合成樹脂カバー	m	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	

## 第2項 空気調和設備工事

### 1 単価及び価格

#### (1) 機器設備

イ 吸収冷凍機、吸収冷温水機及び吸収冷温水機ユニットの保温は、製造業者の見積価格等を参考にする。

ロ 空気熱源ヒートポンプパッケージ形空気調和機（セパレート・マルチ）の屋外機のうち定格冷房能力が25.0 kWを超えるものの据付は、協議会歩掛りによる。

ハ 空気熱源及びガスエンジンヒートポンプ式パッケージ形空気調和機の冷媒管は、特記がなければ価格を算出するにあたって参考とした製造業者の口径を基に、単価基準 第4章第1節1配管工事により計上する。ただし、分岐ユニットは、製造業者の見積価格等を参考にする。

ニ 地下オイルタンク付属品は、協議会歩掛りによる。

#### (2) ダクト設備

イ ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。

ロ ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。

ハ ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。

ニ 吹出口及び吸込口ボックス並びにチャンバー等の吊り用インサート取付費は、大きさや形状に合せ、必要箇所数を別途計上する。

なお、シーリングディフューザー用グラスウール製ボックスの吊りは、1箇所を標準とする。

ホ ダクトのコンクリート壁貫通箇所に設ける型枠は、建築工事に依頼するものとし、特記仕様書等に建築工事の区分を明記する。

#### (3) 弁装置類

イ 本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。

表M1-4 補正市場単価 【ダクト工事】

細目	摘要	単位	備考
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト（インサート取付費含む、A+Bシール無し）	m <sup>2</sup>	
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト（インサート取付費含む、A+Bシール無し）	m <sup>2</sup>	
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費含む、A+Bシール無し）	m <sup>2</sup>	
スパイラルダクト	低圧ダクト（インサート取付費含む）	m	
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト（インサート取付費別途、A+Bシール共）	m <sup>2</sup>	
共板フランジ工法ダクト	（インサート取付費別途、A+Bシール共）	m <sup>2</sup>	
チャンバー	低圧用（インサート取付費別途、シール共）	m <sup>2</sup>	
チャンバー	高圧1ダクト用及び高圧2ダクト用、排煙ダクト用 （インサート取付費別途、シール無し）	m <sup>2</sup>	
組立ボックス	低圧用（インサート取付費別途、シール共）	m <sup>2</sup>	
ボックス	低圧用（インサート取付費別途、シール共）	m <sup>2</sup>	
線状吹出口用ボックス	低圧用（インサート取付費別途、シール共）	m <sup>2</sup>	



### 第3項 自動制御設備工事

#### 1 一般事項

(1) 自動制御設備は、空気調和設備や衛生設備等の設備システムと密接に関連し高度な専門性を有することから、専門工事業者の見積価格等を参考にする。

#### 2 単価及び価格

##### (1) 自動制御設備

イ 専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。

ロ 中央監視制御装置の形式がⅡ形（簡易形監視制御装置）及びⅢ形（監視制御装置）の中央監視システムは、機器価格等に含まれないソフトウェアの仕様決定を行うための事前打合せに関する費用として、専門工事業者のエンジニアリング費の見積価格等を参考に計上する。

なお、事前打合せを行う項目は下記による。

- ・ 設備機器の動作条件の設定
- ・ DDC（ダイレクトデジタルコントローラー）の構成
- ・ サマリーグラフの構成等
- ・ 作表印字の構成等

## 第4項 給排水衛生設備工事

### 1 単価及び価格

#### (1) 衛生器具設備

イ 衛生器具設備の細目工種は、単価基準及び表M1-5による。

また、壁掛形汚物流しユニットの取付は、協議会歩掛りによる。

なお、左記によれない場合は、参考歩掛り又はその組み合わせによる。

ロ 大便器・小便器ユニット等は、ユニットの構成、配管の種類、ケーシングの寸法等を考慮のうえ、製造業者からの材料費及び労務費等の見積価格等を参考にする。

ハ 和風便器の在来工法でコンクリート床貫通箇所には型枠は、建築工事に依頼するものとし、特記仕様書等に建築工事の区分を明記する。

#### (2) 給湯設備

イ ヒートポンプ式給湯器の据付は、単価基準 表M1-2-1 2空気熱源ヒートポンプパッケージ形空調機（圧縮機屋外形）の屋外機の歩係りに、単価基準 表M1-2-5タンク類の密閉形隔膜式膨張タンクの歩掛りを加算した歩掛りとする。

#### (3) 消火設備

イ 専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。

ロ 複数の消火システムが存在する工事は、原則としてシステム毎に安価な専門工事業者の見積価格等を参考にする。

#### (4) 厨房機器設備

イ 専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。

表M1-5 補正市場単価 【衛生器具設備工事】

細目	摘要	単位	備考
和風便器	洗浄弁式	組	
和風便器	タンク式（ロータンク）	組	
和風便器耐火カバー		組	

## 第2節 改修工事

## 第1項 共通工事(改修)

## 1 単価及び価格

## (1) 仮設工事

イ 設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、仮設工事を計上する。

ロ 仮設の配管等の単価は、原則として全損扱いとし、複合単価又は市場単価を計上する。仮設期間が短期間(3ヶ月未満程度)で同一業者が撤去することとなり、用途及び現場条件から再使用品(転用品)の使用が可能な場合、仮設の配管等の単価は、複合単価又は市場単価を70%程度に低減し算定することとするが、再使用が困難な保温等の単価は全損として計上する。

また、撤去にあたっては、公共建築工事標準単価積算基準の当該事項に基づきその費用を計上する。

なお、仮設に使用する配管等については、新品を使用し全損すること、又は再使用品(転用品)の使用が可能なことを特記する。

ハ 仮設を運転するに当たって、燃料等が必要な場合は別途計上する。

ニ 単価作成例を表M1-6及び表M1-7に示す。

表M1-6 スパイラルダクト(低圧ダクト)(市場単価)

スパイラルダクト	口径φ100mm	0.5mm		1mあたり		2,030円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
スパイラルダクト(低圧)	100φ 0.5mm	m	1	2,900	2,900	①
計					2,900	②
低減単価	市場単価×70%				2,030	③ ②×0.7

表M1-7 硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)(「標準単価積算基準」表M1-1-45)

給水管	呼び径100A	屋外架空		接着接合	1m当たり	5,000円
名称	摘要・規格	単位	所要量	単価	金額	備考
管	32A	m	1.05	1,395	1,464.75	①
継手	管単価×30%	式	1		418.5	② ①(1,395)×0.3
接合材等	管単価×10%	式	1		139.5	③ ①(1,395)×0.1
支持金物	管単価×25%	式	1		348.75	④ ①(1,395)×0.25
配管工		人	0.221	18,000	3,978	⑤
その他	(労)×20%	式	1		795.6	⑥ ⑤×0.2
計					7,145.1	⑦
低減単価	複合単価×70%				5,001.57	⑧ ⑦×0.7

## 改修工事(機械設備)

## (2) 配管工事

イ 単価基準の「配管切断接続及び配管切断」は、既設配管の保温材の撤去を含んだ単価となっている。ただし、閉塞用のプラグは含まれていないので別途計上する。

## (3) はつり工事

イ 単価基準のはつり工の所要量は、コンクリート壁貫通口、コンクリート壁貫通面積、溝はつりの幅×深さの項目毎に直近上位の値を採用する。

---

## 第2項 空気調和設備工事(改修)

### 1 単価及び価格

#### (1) ダクト工事

イ 保温を行うダクト端部閉塞は、保温を別途計上する。

ロ 長方形ダクトの歩掛り表中の鋼材防錆塗装は工場塗りとしているため、執務並行改修工事であっても、塗装工所要量は基準補正単価の対象としない。

### 第3項 給排水衛生設備工事(改修)

#### 1 単価及び価格

##### (1) 樹類

イ 既設コンクリート柵への接続は、単価基準のインバート改修のほか、手はつり(配管貫通口)を計上する。

## 第4項 撤去工事

### 1 単価及び価格

#### (1) 機器撤去

イ 冷凍機、パッケージ形空調機等の冷媒、オイル等の抜取り費・処分費（フロン破壊処理を含む）は、専門工事業者の見積価格等を参考にする。

ロ 大型機器の撤去費は、製造業者、専門工事業者等からの見積価格等を参考にする。

ハ 標準歩掛りを用いて撤去する機器の搬出費を算出する場合は、機器搬出費の90%とする。

なお、再使用するための取外しにおいては、機器搬出費の100%とする。

ニ 冷凍機等の機器の撤去において、一体での搬出ができない場合は、分割するための費用を別途考慮する。

ホ 分割して搬出する機器は、分割時の各部材を1個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。

#### (2) 配管・ダクト類

イ 保温の施された配管、ダクト等の撤去は、保温の撤去費用を計上する。

ロ 弁・継手類の撤去労務費は、65A以上を対象に計上する。

なお、50A以下は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。

ハ 計器類（温度計、圧力計、風量測定口等）の撤去労務費は、配管やダクトと同時に撤去されるものとし計上しない。

ニ ダクト付属品（吹出口、吸込口、ダンパー、たわみ継手等）の撤去は、撤去費用を計上する。ただし、点検口（ダクト用）はチャンバー等と同時に撤去されるものとし計上しない。

#### (3) 柵類

イ 柵を撤去する場合は、土工事を別途計上する。ただし、300×300以下の柵の土工事は、接続する配管の延長とし、配管の土工事に含まれるものとみなす。

---

## 第5章 昇降機設備工事

### 第1節 新設工事

#### 第1項 共通工事

##### 1 一般事項

(1) 昇降機設備工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

##### 2 単価及び価格

(1) 昇降機設備工事は、専門工事業者の見積価格等を参考に価格決定する。なお、決定に際しては、機械室の有無、定員、停止階、昇降速度、身体障害者付加仕様の有無、監視盤の有無等の仕様及び過去の入札状況等を総合的に考慮する。

(2) エレベーター設備、小荷物専用昇降機設備及びエスカレーター設備を同一の工事にて発注する場合は、見積価格等による各設備の直接上事費の合計金額を基に決定する。



---

## 第2節 改修工事

### 第1項 共通工事

#### 1 一般事項

- (1) 昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

#### 2 単価及び価格

- (1) 昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者の見積価格等を参考に価格決定するが、改修内容によっては他工事、刊行物の単価・価格及び改修内容に対応する専門工事業者の見積価格等を参考にする。
- (2) エレベーター設備、小荷物専用昇降機設備、エスカレーター設備の改修工事を同一の工事にて発注する場合は、見積価格等による各設備の直接工事費の合計金額を基に、決定する。

## 第2項 撤去工事

### 1 一般事項

- (1) 昇降機設備工事の撤去工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

## 附表 補正市場単価算出方法

## 補正市場単価作成上の留意点

歩掛りによって、補正市場単価を作成する場合

### 1. 資材単価および価格

市場単価採用都市と同じ採用都市の資材単価及び価格を使用する。ただし、採用都市において資材単価及び価格の掲載がない場合は、各発注機関における複合単価作成時の資材単価及び価格採用の方法に則るものとする。

### 2. 労務単価

市場単価採用都市と同じ県の労務単価を使用する。ただし、採用県における労務単価の掲載がない場合は、各発注機関における複合単価作成時の労務単価採用の方法に則るものとする。

#### 【補正市場単価を採用する場合の採用都市労務単価の採用（例）】

市場単価採用都市	採用県労務単価
札幌（北海道）	北海道
仙台（東北）	宮城
東京（関東）	東京
新潟（北陸）	新潟
名古屋（中部）	愛知
大阪（近畿）	大阪
広島（中国）	広島
高松（四国）	香川
福岡（九州）	福岡
那覇（沖縄）	沖縄

## 【建築工事】

## 【 土工 】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
根切り	つぼ、布掘 深さ 2.5m 程度	m <sup>3</sup>	A	
床付け	つぼ、布掘	m <sup>2</sup>	B	
根切り	総掘 法付オープンカット	m <sup>3</sup>	C	
根切り	自立山留め内	m <sup>3</sup>	D	
床付け	総掘	m <sup>2</sup>	E	
すきとり	H=300 程度	m <sup>3</sup>	F	
杭間ざらい	既製コンクリート杭 φ 350 ~ 600	本	G	
埋戻し	発生土	m <sup>3</sup>	H	
機械運搬費	片道 30km 以内 バックホウ	往復	I	

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
根切り	つぼ掘り及び布掘り (ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	a	表 RA-2-1
根切り	山止め付き総掘り 自立式 (ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	d	表 RA-2-4
根切り	山止め付き総掘り 切梁腹起方式 (ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	c	表 RA-2-6
根切り	山止め付き総掘り 切梁腹起方式 (ハックホウ 0.45m <sup>3</sup> ・クラムシェル積込)	m <sup>3</sup>	b	表 RA-2-7
根切り	山止め付き総掘り グラントアンカー方式 (ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	e	表 RA-2-9
根切り	小規模土工 (ハックホウ 0.28m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	f	表 RA-2-14
埋戻し	つぼ掘り及び布掘り (ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	h	表 RA-2-18
埋戻し	小規模土工 (ハックホウ 0.28m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	g	表 RA-2-22
盛土	(ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	j	表 RA-2-24
敷きならし	(フルトザ-3 t 級)	m <sup>3</sup>	k	表 RA-2-27
締固め	(振動ローラー 2.4 ~ 2.8 t)	m <sup>3</sup>	l	表 RA-2-29
積込み	(ハックホウ 0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	m	表 RA-2-33
土工機械運搬	ハックホウ 排出ガス対策型油圧式クローラー型 0.28m <sup>3</sup>	往復	n	表 RA-2-39
土工機械運搬	ハックホウ 排出ガス対策型油圧式クローラー型 0.8m <sup>3</sup>	往復	i	表 RA-2-39
土工機械運搬	クラムシェル 油圧ロープ式クローラー型 0.6m <sup>3</sup>	往復	o	表 RA-2-39
土工機械組立分解	クラムシェル 油圧ロープ式クローラー型 0.6m <sup>3</sup>	回	p	表 RA-2-41

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
根切り	山留め内 切梁あり	m <sup>3</sup>	D	$((3d+2c) \div 5) \div d$
根切り	山留め内 切梁あり (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>	D	$((3d+3c+2b) \div 8) \div d$
根切り	山留め内 グラントアンカー (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>	D	$((8d+2e) \div 10) \div d$
根切り	小規模土工	m <sup>3</sup>	A	$f \div a$
埋戻し	小規模土工 発生土	m <sup>3</sup>	H	$g \div h$
盛土	発生土	m <sup>3</sup>	H	$j \div h$
敷き均し	発生土 締固め共	m <sup>3</sup>	H	$(k+l) \div h$
積込み	発生土	m <sup>3</sup>	A	$m \div a$
機械運搬費	片道 30km 以内 ハックホウ+クラムシェル (分解組立共)	往復	I	$(i+o+p) \div i$
機械運搬費	小規模土工 片道 30km 以内 ハックホウ	往復	I	$n \div i$

## 【 建築工事 】

## 【 鉄筋 】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
鉄筋加工組立	RC 枠構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A	
鉄筋加工組立	SRC 枠構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	B	
鉄筋加工組立	RC 壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	t	C	
鉄筋加工組立	スパイラルブ取付	t	D	
運搬費	加工場～現場 30 km程度 4t 車	t	E	
運搬費	加工場～現場 30 km程度 10t 車	t	F	
ガス圧接	D 1 9 - D 1 9	か所	G	
ガス圧接	D 2 2 - D 2 2	か所	H	
ガス圧接	D 2 5 - D 2 5	か所	I	
ガス圧接	D 2 9 - D 2 9	か所	J	
ガス圧接	D 3 2 - D 3 2	か所	K	
ガス圧接	D 1 9 - D 2 2	か所	L	
ガス圧接	D 2 2 - D 2 5	か所	M	
ガス圧接	D 2 5 - D 2 9	か所	N	
ガス圧接	D 2 9 - D 3 2	か所	O	

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
鉄筋工場加工	一般 太物	t	a	表 RA-4-1
鉄筋工場加工	一般 細物	t	b	表 RA-4-1
鉄筋組立	RC 造 太物(圧接)	t	c	表 RA-4-3
鉄筋組立	RC 造 細物	t	d	表 RA-4-3
鉄筋加工組立	S 造スラブ 鉄筋加工 工場	t	e	表 RA-4-6
鉄筋加工組立	S 造スラブ 鉄筋組立て	t	f	表 RA-4-6
鉄筋加工組立	小型構造物	t	g	表 RA-4-9

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
鉄筋加工組立	S 造 床版	t	A	$(e+f) \div ((0.4(a+c) + 0.6(b+d)))$
鉄筋加工組立	小型構造物	t	A	$g \div ((0.4(a+c) + 0.6(b+d)))$

## 【 鉄筋（耐震改修） 】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
鉄筋加工組立	RC 枠構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A	

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	補正率
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	A	1.55

## 【建築工事】

## 【コンクリート】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
打設手間	捨コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	A	
打設手間	土間コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	B	
打設手間	基礎コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	C	
打設手間	く体コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	D	
打設手間	防水押えコンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	E	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が100m <sup>3</sup> 以上	回	F	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	回	G	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が30m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	回	H	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が100m <sup>3</sup> 以上	m <sup>3</sup>	I	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	J	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が30m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	K	

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
コンクリート打設手間(ブーム式)	1回当たりの打設量 20m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	a	表 RA-5-1
コンクリート打設手間(ブーム式)	1回当たりの打設量 50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	b	表 RA-5-1
コンクリート打設手間(ブーム式)	1回当たりの打設量 100m <sup>3</sup> 以上170m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	c	表 RA-5-1
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	d	表 RA-5-2
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	e	表 RA-5-2
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 100m <sup>3</sup> 以上170m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	f	表 RA-5-2
コンクリート打設手間 (小型構造物)	人力打設 工作物の基礎等	m <sup>3</sup>	g	表 RA-5-8
コンクリート打設手間 (小型構造物)	人力打設 擁壁、圍障の基礎等	m <sup>3</sup>	h	表 RA-5-8

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	C	$(0.5b+0.5e) \div (0.5c+0.5f)$
打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	C	$(0.5a+0.5d) \div (0.5c+0.5f)$
打設手間	く体コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	D	$(0.5b+0.5e) \div (0.5c+0.5f)$
打設手間	く体コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	D	$(0.5a+0.5d) \div (0.5c+0.5f)$
打設手間	S造スラブコンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	B	1.0
打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 工作物の基礎等	m <sup>3</sup>	B	$g \div a$
打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 擁壁、圍障の基礎等	m <sup>3</sup>	B	$h \div a$

## \*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
コンクリート打設手間(人力)	捨コンクリート 人力 S15~18	m <sup>3</sup>	o	コンクリート打設手間※
コンクリート打設手間(人力)	防水保護 人力 S15~18	m <sup>3</sup>	p	

※営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
打設手間	捨コンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	A	o ÷ a
打設手間	防水押さえコンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	E	p ÷ e



## 【建築工事】

## 【型枠】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
普通合板型枠	基礎部	m <sup>2</sup>	A	
普通合板型枠	地下軸部 階高 5.0m 程度	m <sup>2</sup>	B	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高 2.8m 程度	m <sup>2</sup>	C	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高 3.5 ～ 4.0m 程度	m <sup>2</sup>	D	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 B種 階高 3.5 ～ 4.0m 程度	m <sup>2</sup>	E	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 C種 階高 3.5 ～ 4.0m 程度	m <sup>2</sup>	F	
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高 2.8m 程度	m <sup>2</sup>	G	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 B種 階高 2.8m 程度	m <sup>2</sup>	H	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 C種 階高 2.8m 程度	m <sup>2</sup>	I	
運搬費	型枠運搬費 4t 車 基準距離 30km 以内	m <sup>2</sup>	J	
運搬費	型枠運搬費 10t 車 基準距離 30km 以内	m <sup>2</sup>	K	

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
普通合板型枠	鉄筋コンクリート造建物（壁式）	m <sup>2</sup>	a	表 RA-6-1
普通合板型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	h	表 RA-6-1
打放し合板型枠	A種 鉄筋コンクリート造建物（一般ラーメン）	m <sup>2</sup>	m	表 RA-6-2
打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造建物（一般ラーメン）	m <sup>2</sup>	b	表 RA-6-2
打放し合板型枠	B種 鉄筋コンクリート造建物（壁式）	m <sup>2</sup>	e	表 RA-6-2
打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造建物（一般ラーメン）	m <sup>2</sup>	c	表 RA-6-2
打放し合板型枠	C種 鉄筋コンクリート造建物（壁式）	m <sup>2</sup>	f	表 RA-6-2

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	A	1.0
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m <sup>2</sup>	A	E ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m <sup>2</sup>	A	F ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	(E × m ÷ b) ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	E ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	F ÷ D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 A種 階高 3.5 ～ 4.0m程度	m <sup>2</sup>	E	m ÷ b
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>	H	m ÷ b
小型構造物用型枠	擁壁、圍障の基礎等	m <sup>2</sup>	A	h ÷ a

## 【建築工事】

## 【 型枠（耐震改修） 】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
普通合板型枠	地下軸部 階高 5.0m 程度	m <sup>2</sup>	B	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高 3.5～4.0m 程度	m <sup>2</sup>	D	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 B種 階高 3.5～4.0m 程度	m <sup>2</sup>	E	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 C種 階高 3.5～4.0m 程度	m <sup>2</sup>	F	

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	補正率
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>	B	1.15
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>	D	1.15
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>	B	1.35
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>	B	1.20
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>	B	1.20
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>	E	1.30
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>	E	1.15
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>	F	1.15

## 【建築工事】

## 【防水】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	A	
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	
屋根アスファルト防水	AI-2 断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	C	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	D	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	F	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	G	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	H	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	I	
シーリング	PS-2 ポリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅 10 × 深さ 10	m	J	
シーリング	PS-2 ポリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅 15 × 深さ 10	m	K	
シーリング	PS-2 ポリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	L	
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 10 × 深さ 10	m	M	
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 15 × 深さ 10	m	N	
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	O	
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 10 × 深さ 10	m	P	
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 15 × 深さ 10	m	Q	
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	R	
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 10 × 深さ 10	m	S	
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 15 × 深さ 10	m	T	
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 10 × 深さ 10	m	U	
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 15 × 深さ 10	m	V	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
屋根保護防水密着工法	A-1 平面	m <sup>2</sup>	w	表 RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	x	表 RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-2 平面	m <sup>2</sup>	a	表 RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	b	表 RA-9-1
屋根保護防水 密着断熱工法	A I-1 平面	m <sup>2</sup>	y	表 RA-9-2
屋根保護防水 密着断熱工法	A I-2 平面	m <sup>2</sup>	c	表 RA-9-2
屋根保護防水絶縁工法	B-1 平面	m <sup>2</sup>	d	表 RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	e	表 RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-2 平面	m <sup>2</sup>	②	表 RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	③	表 RA-9-3
屋根保護防水 絶縁断熱工法	B I-1 平面	m <sup>2</sup>	④	表 RA-9-4
屋根保護防水 絶縁断熱工法	B I-2 平面	m <sup>2</sup>	⑥	表 RA-9-4
屋根露出防水絶縁工法	D-1 平面	m <sup>2</sup>	f	表 RA-9-5
屋根露出防水絶縁工法	D-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	g	表 RA-9-5

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
屋根露出防水絶縁工法	D-2 平面	m <sup>2</sup>	⑧	表 RA-9-5
屋根露出防水絶縁工法	D-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	⑨	表 RA-9-5
屋内防水密着工法	E-1 平面	m <sup>2</sup>	h	表 RA-9-6
屋内防水密着工法	E-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	i	表 RA-9-6
屋内防水密着工法	E-2 平面	m <sup>2</sup>	⑩	表 RA-9-6
屋内防水密着工法	E-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	⑪	表 RA-9-6
シーリング	MS-2 変性シリコン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	r	表 RA-9-8
シーリング	MS-2 変性シリコン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以上	m	⑬	表 RA-9-8
シーリング	MS-2 変性シリコン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以上	m	⑭	表 RA-9-8
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 10mm 以下	m	s	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 10mm を超え 15mm 以下	m	t	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	⑮	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	⑯	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	⑰	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 10mm 以下	m	⑳	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 10mm を超え 15mm 以下	m	㉑	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	㉒	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	㉓	表 RA-9-7
シーリング	SR-1 シリコン系 防かびタイプ シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉔	表 RA-9-7
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 10mm を超え 15mm 以下	m	v	表 RA-9-8
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	㉕	表 RA-9-8
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	㉖	表 RA-9-8
シーリング	SR-2 シリコン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉗	表 RA-9-8
シーリング	PS-2 ポリサルファイト系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	l	表 RA-9-8
シーリング	PS-2 ポリサルファイト系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	⑳	表 RA-9-8
シーリング	PS-2 ポリサルファイト系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉑	表 RA-9-8
シーリング	PU-2 ポリウレタン系 シーリング幅 15mm を超え 20mm 以下	m	o	表 RA-9-8
シーリング	PU-2 ポリウレタン系 シーリング幅 20mm を超え 25mm 以下	m	㉒	表 RA-9-8
シーリング	PU-2 ポリウレタン系 シーリング幅 25mm を超え 30mm 以下	m	㉓	表 RA-9-8

## 【建築工事】

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	A	w ÷ a
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	x ÷ b
屋根アスファルト防水	AI-1 断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	C	y ÷ c
屋根アスファルト防水	AI-1 断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	x ÷ b
屋根アスファルト防水	AI-2 断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	1.0
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	D	② ÷ d
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	③ ÷ e
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	C	④ ÷ c
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	1.0
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	C	⑥ ÷ c
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	③ ÷ e
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	F	⑧ ÷ f
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	G	⑨ ÷ g
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	H	⑩ ÷ h
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	I	⑪ ÷ i

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
シーリング	PS-2 ポリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	L	⑫ ÷ l
シーリング	PS-2 ポリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	L	⑬ ÷ l
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	O	⑭ ÷ o
シーリング	PU-2 ポリウレタン (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	O	⑮ ÷ o
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	R	⑯ ÷ r
シーリング	MS-2 変成シリコン (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	R	⑰ ÷ r
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	T	⑱ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	T	⑲ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	T	⑳ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅 10 × 深さ 10	m	S	㉒ ÷ s
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅 15 × 深さ 10	m	T	㉓ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅 20 × 深さ 10	m	T	㉔ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅 25 × 深さ 10	m	T	㉕ ÷ t
シーリング	SR-1 シリコン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅 30 × 深さ 10	m	T	㉖ ÷ t
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 20 × 深さ 10	m	V	㉗ ÷ v
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 25 × 深さ 10	m	V	㉘ ÷ v
シーリング	SR-2 シリコン (2成分形) 幅 30 × 深さ 10	m	V	㉙ ÷ v

## 【 建築工事 】

## 【 金属 】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 50形 @300 スタッド高さ H ≤ 2.7m 直張り用	m <sup>2</sup>	A	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 50形 @450 スタッド高さ H ≤ 2.7m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	B	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 65形 @300 スタッド高さ H ≤ 4.0m 直張り用	m <sup>2</sup>	C	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 65形 @450 スタッド高さ H ≤ 4.0m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	D	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 90形 @300 スタッド高さ 4.0 < H ≤ 4.5m 直張り用	m <sup>2</sup>	E	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 90形 @450 スタッド高さ 4.0 < H ≤ 4.5m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	F	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 100形 @300 スタッド高さ 4.5 < H ≤ 5.0m 直張り用	m <sup>2</sup>	G	
軽量鉄骨壁下地	スタッド 100形 @450 スタッド高さ 4.5 < H ≤ 5.0m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	H	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @225 ふところ高 1.5m 未満 直張り用	m <sup>2</sup>	I	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @300 ふところ高 1.5m 未満 直張り用	m <sup>2</sup>	J	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @360 ふところ高 1.5m 未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	K	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @300 ふところ高 1.0m 未満 直張り用	m <sup>2</sup>	L	
屋内軽量鉄骨下がり壁下地	野縁 19形 H300 ~ 500 程度	m	M	
屋外軽量鉄骨下がり壁下地	野縁 25形 H300 ~ 500 程度	m	N	
屋内天井下地補強	ふところ高 1.5m ~ 3.0m	m <sup>2</sup>	O	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 W900 × H2000 mm程度	か所	P	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 W1800 × H2000 mm程度	か所	Q	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 W900 × H2000 mm程度	か所	R	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 W1800 × H2000 mm程度	か所	S	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 W300 × H600 mm程度	か所	T	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 W450 × H900 mm程度	か所	U	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 W300 × H600 mm程度	か所	V	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 W450 × H900 mm程度	か所	W	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 19形 300 × 300 mm程度	か所	XA	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 19形 450 × 450 mm程度	か所	XB	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 19形 600 × 600 mm程度	か所	XC	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 19形 300 × 1200 mm程度	か所	XD	
屋内天井下地開口部補強	ボード等切込み共 19形 300 × 3600 mm程度	か所	XE	
屋外天井下地開口部補強	ボード等切込み共 25形 450 × 450 mm程度	か所	YA	
屋外天井下地開口部補強	ボード等切込み共 25形 600 × 600 mm程度	か所	YB	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りなし @225	m <sup>2</sup>	i	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りなし @300	m <sup>2</sup>	j	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りあり @360	m <sup>2</sup>	k	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 金属成形板用 @360	m <sup>2</sup>	④	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りなし @225	m <sup>2</sup>	⑭	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りなし @300	m <sup>2</sup>	l	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りあり @360	m <sup>2</sup>	⑳	表 RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 金属成形板用 @360	m <sup>2</sup>	㉓	表 RA-14-2

## 【建築工事】

\*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考	
軽量鉄骨壁開口補強	65形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	p	軽量鉄骨壁開口部補強※	
軽量鉄骨壁開口補強	65形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	29		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	q		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	34		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 ダケ外 (300×600程度)	か所	t		
軽量鉄骨壁開口補強	65形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 ダケ外 (450×900程度)	か所	u		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	r		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	30		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	s		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	35		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 ダケ外 (300×600程度)	か所	v		
軽量鉄骨壁開口補強	90形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 ダケ外 (450×900程度)	か所	w		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	31		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	32		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 出入口等 リブみぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	33		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	36		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 ダケ外 (300×600程度)	か所	37		
軽量鉄骨壁開口補強	100形 ダケ外等 スタッド、ラン材補強 ダケ外 (450×900程度)	か所	38		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 150角,150φ以下ホート切込み共	か所	39		軽量鉄骨天井開口部補強※
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300角,300φ以下ホート切込み共	か所	x a		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 450角,450φ以下ホート切込み共	か所	x b		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 650角,650φ以下ホート切込み共	か所	x c		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 900角,900φ以下ホート切込み共	か所	40		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 1300角,1300φ以下ホート切込み共	か所	41		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300×1300以下ホート切込み共	か所	x d		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300×2500以下ホート切込み共	か所	42		
軽量鉄骨天井開口部補強	19形 300×3700以下ホート切込み共	か所	x e		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 150角,150φ以下ホート切込み共	か所	43		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300角,300φ以下ホート切込み共	か所	44		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 450角,450φ以下ホート切込み共	か所	y a		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 650角,650φ以下ホート切込み共	か所	y b		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 900角,900φ以下ホート切込み共	か所	45		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 1300角,1300φ以下ホート切込み共	か所	46		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300×1300以下ホート切込み共	か所	47		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300×2500以下ホート切込み共	か所	48		
軽量鉄骨天井開口部補強	25形 300×3700以下ホート切込み共	か所	49		

※営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

## 【建築工事】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 W1200×H2000mm程度	か所	P	29 ÷ p
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 W1200×H2000mm程度	か所	R	30 ÷ r
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 W900×H2000mm程度	か所	R	31 ÷ r
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 W1200×H2000mm程度	か所	R	32 ÷ r
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 100形 W1800×H2000mm程度	か所	R	33 ÷ r
壁下地開口補強	ﾀﾞ外等四方補強 スタッド 65形 W200×H400mm程度	か所	T	34 ÷ t
壁下地開口補強	ﾀﾞ外等四方補強 スタッド 90形 W200×H400mm程度	か所	V	35 ÷ v
壁下地開口補強	ﾀﾞ外等四方補強 スタッド 100形 W200×H400mm程度	か所	V	36 ÷ v
壁下地開口補強	ﾀﾞ外等四方補強 スタッド 100形 W300×H600mm程度	か所	V	37 ÷ v
壁下地開口補強	ﾀﾞ外等四方補強 スタッド 100形 W450×H900mm程度	か所	V	38 ÷ v
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 150×150mm程度	か所	XA	39 ÷ xa
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 900×900mm程度	か所	XB	40 ÷ xb
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 1300×1300mm程度	か所	XB	41 ÷ xb
屋内天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 19形 300×2500mm程度	か所	XD	42 ÷ xd
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 150×150mm程度	か所	YA	43 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×300mm程度	か所	YA	44 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 900×900mm程度	か所	YA	45 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 1300×1300mm程度	か所	YA	46 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×1200mm程度	か所	YA	47 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×2500mm程度	か所	YA	48 ÷ ya
屋外天井下地開口部補強	ﾎｰﾄﾞ等切込み共 25形 300×3600mm程度	か所	YA	49 ÷ ya
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁 19形 @360 ふところ高 1.5m 未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	K	④ ÷ k
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @225 ふところ高 1.0m 未満 直張り用	m <sup>2</sup>	L	⑭ ÷ l
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @360 ふところ高 1.0m 未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	L	⑳ ÷ l
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁 25形 @360 ふところ高 1.0m 未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	L	㉑ ÷ l



## 【建築工事】

## 【左官】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 薄張物下地【手間のみ】	m <sup>2</sup>	A	
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 防水下地 厚張物下地【手間のみ】	m <sup>2</sup>	B	
床モルタル塗り	金ごて 厚 28 張物下地	m <sup>2</sup>	C	
床モルタル塗り	木ごて 厚 37 一般タイル下地	m <sup>2</sup>	D	
床モルタル塗り	金ごて 厚 15 防水下地	m <sup>2</sup>	E	
階段モルタル塗り	金ごて 厚 28 張物下地	m <sup>2</sup>	F	
幅木モルタル塗り	金ごて H100 出幅木	m	G	
幅木モルタル塗り	金ごて H100 目地用 ジョイナー共	m	H	
ささら幅木モルタル塗り	金ごて H150 出幅木	m	I	
壁モルタル塗り	金ごて 厚 20 内壁 3 回塗り	m <sup>2</sup>	J	
柱型モルタル塗り	金ごて 厚 20 3 回塗り	m <sup>2</sup>	K	
はり型モルタル塗り	金ごて 厚 20 3 回塗り	m <sup>2</sup>	L	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 16 外壁小口タイル下地 2 回塗り	m <sup>2</sup>	M	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 20 外壁ユニットタイル下地 2 回塗り	m <sup>2</sup>	N	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 11 内壁小口タイル下地 2 回塗り	m <sup>2</sup>	O	
壁モルタル塗り	木ごて 厚 15 内壁ユニットタイル下地 2 回塗り	m <sup>2</sup>	P	
壁薄塗モルタル	金ごて 厚 5 既調合品	m <sup>2</sup>	Q	
柱薄塗モルタル	金ごて 厚 5 既調合品	m <sup>2</sup>	R	
はり薄塗モルタル	金ごて 厚 5 既調合品	m <sup>2</sup>	S	
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅 300 【手間のみ】	m	T	
水切りモルタル塗り	金ごて 糸幅 200 厚 30	m	U	
手摺笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅 200 厚 30	m	V	
側溝モルタル塗り	金ごて 糸幅 200 厚 30	m	W	
建具周囲モルタル充填	内部建具	m	X	
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	Y	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
床モルタル塗り	ビニル系床材下地	m <sup>2</sup>	c	表 RA-15-2
床モルタル塗り	一般タイル下地	m <sup>2</sup>	d	表 RA-15-2
床モルタル塗り	防水下地	m <sup>2</sup>	e	表 RA-15-2
階段モルタル塗り	ビニル系床材下地	m <sup>2</sup>	f	表 RA-15-3
幅木モルタル塗り	出幅木 H=100mm	m	g	表 RA-15-5
幅木モルタル塗り	階段出幅木 H=150mm	m	i	表 RA-15-5
壁モルタル塗り	モルタル仕上 内壁 金ごて	m <sup>2</sup>	j	表 RA-15-6
壁モルタル塗り	下地モルタル 外装タイル下地 外壁	m <sup>2</sup>	m	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	下地モルタル ユニットタイル下地 外壁	m <sup>2</sup>	n	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	下地モルタル 外装タイル下地 内壁	m <sup>2</sup>	o	表 RA-15-7
外部役物モルタル塗り	水切 糸=170mm	m	u	表 RA-15-8
床モルタル塗り	モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	①	表 RA-15-2
床モルタル塗り	ユニットタイル下地	m <sup>2</sup>	③	表 RA-15-2
階段モルタル塗り	モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	④	表 RA-15-3

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
幅木モルタル塗り	出幅木 H=300mm	m	⑥	表 RA-15-5
床役物モルタル塗り	くつずり幅=100mm 戸当たり付	m	⑦	表 RA-15-4
床役物モルタル塗り	くつずり幅=100mm 戸当たり無	m	⑧	表 RA-15-4
床役物モルタル塗り	ボーダー幅=150mm 平部	m	⑨	表 RA-15-4
床役物モルタル塗り	ボーダー幅=150mm 階段部	m	⑩	表 RA-15-4
壁モルタル塗り	下地モルタル 内装タイル下地 接着張り	m <sup>2</sup>	⑪	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	モルタル仕上 外壁 金ごて	m <sup>2</sup>	⑫	表 RA-15-6
壁モルタル塗り	下地モルタル 内装タイル下地 改良積上張り	m <sup>2</sup>	⑬	表 RA-15-7
壁モルタル塗り	モルタル仕上 内壁 はけ引き	m <sup>2</sup>	⑭	表 RA-15-6
壁モルタル塗り	モルタル仕上 外壁 はけ引き	m <sup>2</sup>	⑮	表 RA-15-6
外部役物モルタル塗り	パラペット 糸幅=500mm	m	⑯	表 RA-15-8
外部役物モルタル塗り	笠木 糸幅=340mm	m	⑰	表 RA-15-8
外部役物モルタル塗り	窓台 糸幅=150mm	m	⑱	表 RA-15-8
内部役物モルタル塗り	膳板 糸幅=150mm	m	⑲	表 RA-15-9

## 【建築工事】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床モルタル塗り	金ごて 厚 30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	C	① ÷ c
床モルタル塗り	金ごて 厚 30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	C	① ÷ c
床モルタル塗り	木ごて 厚 22 エットマイル下地	m <sup>2</sup>	D	③ ÷ d
階段モルタル塗り	金ごて 厚 30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	F	④ ÷ f
階段モルタル塗り	金ごて 厚 30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	F	④ ÷ f
幅木モルタル塗り	金ごて H300 出幅木	m	G	⑥ ÷ g
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅 100 戸当り有り	m	G	⑦ ÷ g
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅 100 戸当り無し	m	G	⑧ ÷ g
ポーターモルタル塗り	金ごて 幅 150 平部	m	I	⑨ ÷ i
ポーターモルタル塗り	金ごて 幅 150 階段部	m	I	⑩ ÷ i
壁モルタル塗り	金ごて 厚 25 外壁 3回塗り	m <sup>2</sup>	J	⑫ ÷ j
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地	m <sup>2</sup>	J	⑪ ÷ j
壁モルタル塗り	木ごて 内装タイル改良積上張り下地	m <sup>2</sup>	O	⑬ ÷ o
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚 20 内壁	m <sup>2</sup>	J	⑭ ÷ j
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚 25 外壁	m <sup>2</sup>	J	⑮ ÷ j
笠木モルタル塗り	パラペット 金ごて 糸幅 500 程度	m	U	⑯ ÷ u
笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅 340 程度	m	U	⑰ ÷ u
窓台モルタル塗り	金ごて 糸幅 150 程度	m	U	⑱ ÷ u
膳板モルタル塗り	金ごて 糸幅 150 程度	m	U	⑲ ÷ u

## 【建築工事】

## 【 建具 】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18㎡以下	㎡	A	
網入り型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	B	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18㎡以下	㎡	C	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45㎡以下	㎡	D	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	E	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45㎡以下	㎡	F	
網入りみがき板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	G	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸2.0㎡以下	㎡	H	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸2.0㎡以下	㎡	I	
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0㎡以下	㎡	J	
ガラスとめシーリング	片面5×5 ハックアップ材共 シリコン系 1成分形	m	K	

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18㎡以下	㎡	a	表 RA-16-6
網入り型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	b	表 RA-16-7
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18㎡以下	㎡	c	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45㎡以下	㎡	d	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	e	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45㎡以下	㎡	f	表 RA-16-8
網入りみがき板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	g	表 RA-16-10
複層ガラス	FL5:A6:FL5 2.0㎡以下	㎡	h	表 RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:PW6.8 2.0㎡以下	㎡	i	表 RA-16-13
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0㎡以下	㎡	j	表 RA-16-15
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	①	表 RA-16-6
網入り型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	②	表 RA-16-7
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18㎡以下	㎡	③	表 RA-16-8
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	④	表 RA-16-9
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	⑤	表 RA-16-9
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81㎡以下	㎡	⑥	表 RA-16-9
網入りみがき板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45㎡以下	㎡	⑨	表 RA-16-10
複層ガラス	FL3:A6:FL3 2.0㎡以下	㎡	⑫	表 RA-16-13
複層ガラス	FL3:A6:FL3 4.0㎡以下	㎡	⑬	表 RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:FL5 4.0㎡以下	㎡	⑭	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:FL6 2.0㎡以下	㎡	⑮	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:FL6 4.0㎡以下	㎡	⑯	表 RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:PW6.8 4.0㎡以下	㎡	⑰	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:PW6.8 2.0㎡以下	㎡	⑱	表 RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:PW6.8 4.0㎡以下	㎡	⑲	表 RA-16-13
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0㎡以下	㎡	⑳	表 RA-16-14
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0㎡以下	㎡	㉑	表 RA-16-14

## 【建築工事】

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
強化ガラス	厚 6mm 特寸 2.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	㉔	表 RA-16-14
強化ガラス	厚 6mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	㉕	表 RA-16-14
強化ガラス	厚 8mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	㉖	表 RA-16-15
強化ガラス	厚 10mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	㉗	表 RA-16-16
強化ガラス	厚 12mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	㉘	表 RA-16-16

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
型板ガラス	厚 6mm 特寸 2.18 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	A	① ÷ a
網入り型板ガラス	厚 6.8mm 特寸 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	B	② ÷ b
フロート板ガラス	厚 3mm 特寸 2.18 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	C	③ ÷ c
フロート板ガラス	厚 8mm 特寸 2.18 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	E	④ ÷ e
フロート板ガラス	厚 8mm 特寸 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑤ ÷ f
フロート板ガラス	厚 8mm 特寸 6.81 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑥ ÷ f
網入りみがき板ガラス	厚 6.8mm 特寸 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G	⑨ ÷ g
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸 2.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑫ ÷ h
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑬ ÷ h
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑭ ÷ h
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸 2.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑮ ÷ h
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑯ ÷ h
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I	⑰ ÷ i
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸 2.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I	⑱ ÷ i
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I	⑲ ÷ i
強化ガラス	厚 5mm 特寸 2.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	⑳ ÷ j
強化ガラス	厚 5mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉑ ÷ j
強化ガラス	厚 6mm 特寸 2.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉒ ÷ j
強化ガラス	厚 6mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉓ ÷ j
強化ガラス	厚 8mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉔ ÷ j
強化ガラス	厚 10mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉕ ÷ j
強化ガラス	厚 12mm 特寸 4.0 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉖ ÷ j

## \*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
フロート板ガラス	フロート板ガラス規格 厚 10 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑦	フロート板ガラス※
フロート板ガラス	フロート板ガラス規格 厚 10 6.81 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑧	
網入りみがき板ガラス	網入りみがき板ガラス規格 厚 10 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑩	網入りみがき板ガラス※
網入りみがき板ガラス	網入りみがき板ガラス規格 厚 10 6.81 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑪	

※営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
フロート板ガラス	厚 10mm 特寸 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑦ ÷ f
フロート板ガラス	厚 10mm 特寸 6.81 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑧ ÷ f
網入りみがき板ガラス	厚 10mm 特寸 4.45 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G	⑩ ÷ g
網入りみがき板ガラス	厚 10mm 特寸 6.81 m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G	⑪ ÷ g

## 【建築工事】

【 塗装 】 改修工事は、【 塗装改修 】を参照する。

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要			単位	単価記号	
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (屋内外)	A種	A種	m <sup>2</sup>	A	
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (屋内)	B種	A種	m <sup>2</sup>	B	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 (屋内外)	A種	A種	m <sup>2</sup>	C	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 (屋内外)	1種	B種	m <sup>2</sup>	D	
SOP塗り	(素地ごしらえA種共)木部 (屋内)	1種	B種	m <sup>2</sup>	E	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) せっこうボード面		B種	m <sup>2</sup>	F	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m <sup>2</sup>	R	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		m <sup>2</sup>	G	
CL塗り	(素地ごしらえB種共)木部		B種	m <sup>2</sup>	I	
OS塗り	(汚れ除去の上)木部			m <sup>2</sup>	J	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらえA種共)木部 (屋内)	1種	B種	m	K	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (錆止め現場1回共)鉄鋼面 (屋内)		B種	m	L	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらえB種共)木部		B種	m	M	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下 (汚れ除去の上)木部			m	N	
素地ごしらえ	木部 (屋内)		A種	m <sup>2</sup>	O	
素地ごしらえ	せっこうボード面		B種	m <sup>2</sup>	P	
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種	m <sup>2</sup>	S	
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>	Q	

\*\*参考歩掛り (標仕仕様) \*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (仕様:第8節)	水系	A種	m <sup>2</sup>	1	表 RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (仕様:第8節)	水系	B種	m <sup>2</sup>	2	表 RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A種	m <sup>2</sup>	1 1 9	表 RA-17-7
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	B種	m <sup>2</sup>	3	表 RA-17-7
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A,B種	m <sup>2</sup>	4	表 RA-17-7
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	1 2 0	表 RA-17-8
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	1 2 1	表 RA-17-8
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (屋内外)	1種	A種	m <sup>2</sup>	9	表 RA-17-8
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (屋内外)	1種	B種	m <sup>2</sup>	d 1	表 RA-17-8
EP塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	1 2	表 RA-17-9
EP塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	1 3	表 RA-17-9
EP塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	1 2 2	表 RA-17-9
EP塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	1 2 3	表 RA-17-9
EPG塗り (つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	4 4	表 RA-17-10
EPG塗り (つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	4 5	表 RA-17-10

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り(標仕仕様)\*\*

細目	摘要		単位	歩掛り記号	表番号	
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	4 6	表 RA-17-10
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	4 8	表 RA-17-10
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m <sup>2</sup>	1 0 9	表 RA-17-11
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	屋内鉄鋼面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	1 1 1	表 RA-17-12
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	屋内鉄鋼面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	1 1 4	表 RA-17-12
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	屋内亜鉛めっき鋼面 素地ごしらえ別途			m <sup>2</sup>	1 1 7	表 RA-17-13
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗	素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	7 6	表 RA-17-14
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗	素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	7 8	表 RA-17-14
CL塗(ウレタン塗)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	9 4	表 RA-17-15
CL塗(ウレタン塗)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	i	表 RA-17-15
LE塗(ラッカーエナメル塗)	素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	9 5	表 RA-17-16
LE塗(ラッカーエナメル塗)	素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	9 6	表 RA-17-16
SOP塗(合成樹脂調合ベイト塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部		A種	m	1 2 4	表 RA-17-18
SOP塗(合成樹脂調合ベイト塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部		B種	m	1 2 5	表 RA-17-18
EPG塗(つや有合成樹脂エポキシ塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部	水系		m	9 7	表 RA-17-19
CL塗(ウレタン塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部		A種	m	9 8	表 RA-17-20
CL塗(ウレタン塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部		B種	m	m	表 RA-17-20
LE塗(ラッカーエナメル塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部		A種	m	1 2 9	表 RA-17-21
LE塗(ラッカーエナメル塗)	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部		B種	m	1 3 0	表 RA-17-21
OS塗	細幅物糸幅 300mm以下(素地ごしらえ共)木部			m	n	表 RA-17-22
素地ごしらえ	木部(屋外)		A種	m <sup>2</sup>	1 2 6	表 RA-17-1
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m <sup>2</sup>	1 2 7	表 RA-17-1
素地ごしらえ	木部(屋内)セラクニス		A種	m <sup>2</sup>	1 3 1	表 RA-17-1
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>	9 9	表 RA-17-1
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>	1 0 0	表 RA-17-1
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>	1 0 1	表 RA-17-1
素地ごしらえ	モルタル及びびりスター面		A種	m <sup>2</sup>	1 0 2	表 RA-17-2
素地ごしらえ	モルタル及びびりスター面		B種	m <sup>2</sup>	p 1	表 RA-17-2
素地ごしらえ	モルタル及びびりスター面(付着物の除去)			m <sup>2</sup>	1 0 3	表 RA-17-2
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>	1 0 4	表 RA-17-3
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>	1 0 5	表 RA-17-3
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面		A種	m <sup>2</sup>	1 0 6	表 RA-17-5
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面		B種	m <sup>2</sup>	1 2 8	表 RA-17-5
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m <sup>2</sup>	1 0 7	表 RA-17-6
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>	1 0 8	表 RA-17-4
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>	q	表 RA-17-4

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り(改修標仕仕様)\*\*

細目	摘要		単位	歩掛り記号	表番号	
	下地種類等	塗装種別 作業工程 (塗り回数)				
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A種	m <sup>2</sup>	2'	表 RA-17-30
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	B種	m <sup>2</sup>	4'	表 RA-17-30
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	C種	m <sup>2</sup>	5'	表 RA-17-30
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途	A種	A,B種	m <sup>2</sup>	6'	表 RA-17-30
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	A種	m <sup>2</sup>	10'	表 RA-17-31
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	B種	m <sup>2</sup>	14'	表 RA-17-31
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	C種	m <sup>2</sup>	16'	表 RA-17-31
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	水系	A,B種	m <sup>2</sup>	18'	表 RA-17-31
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	48'	表 RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	50'	表 RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	52'	表 RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	54'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	319'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	55'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	320'	表 RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	61'	表 RA-17-33
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	76'	表 RA-17-39
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	78'	表 RA-17-39
CL塗り(珪藻土塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	105'	表 RA-17-40
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	132'	表 RA-17-41
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	133'	表 RA-17-41
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	110'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	111'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	112'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	113'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	118'	表 RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	120'	表 RA-17-34
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	204'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	205'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	206'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	207'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	212'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	214'	表 RA-17-35
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	182'	表 RA-17-36
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	184'	表 RA-17-36
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	186'	表 RA-17-36
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	188'	表 RA-17-37
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	191'	表 RA-17-37
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	194'	表 RA-17-37
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	196'	表 RA-17-38
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	199'	表 RA-17-38
EPG塗り(つや有合成樹脂エポキシペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	202'	表 RA-17-38
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細留物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	39'	表 RA-17-43



## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り（改修標仕仕様）\*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
SOP 塗り (合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	40'	表 RA-17-43
SOP 塗り (合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	41'	表 RA-17-43
EPG 塗り (つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	42'	表 RA-17-44
EPG 塗り (つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	43'	表 RA-17-44
EPG 塗り (つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	44'	表 RA-17-44
CL 塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		A種	m	45'	表 RA-17-45
CL 塗り (クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	46'	表 RA-17-45
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		A種	m	134'	表 RA-17-46
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅 300 mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	135'	表 RA-17-46
OS 塗り	細幅物糸幅 300 mm以下(付着除去 塗替面) 木部			m	47'	表 RA-17-47
下地調整	木部 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	276'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面) セラックニス		RA種	m <sup>2</sup>	311'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>	318'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	277'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	278'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面)		RA種	m <sup>2</sup>	279'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面) セラックニス		RA種	m <sup>2</sup>	312'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面)		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>	321'	表 RA-17-23
下地調整	木部 (新規面)		RB種	m <sup>2</sup>	280'	表 RA-17-23
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	281'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	282'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	283'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (新規面)		RA種	m <sup>2</sup>	284'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (新規面)		RB種	m <sup>2</sup>	285'	表 RA-17-25
下地調整	モルタル面 (付着物除去)			m <sup>2</sup>	286'	表 RA-17-25
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	287'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	288'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	289'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (新規面)		RA種	m <sup>2</sup>	290'	表 RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (新規面)		RB種	m <sup>2</sup>	291'	表 RA-17-26
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	292'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	293'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	294'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (新規面)		RA種	m <sup>2</sup>	295'	表 RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (新規面)		RB種	m <sup>2</sup>	296'	表 RA-17-27
下地調整	ボード面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	297'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	298'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	299'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (新規面)		RA種	m <sup>2</sup>	300'	表 RA-17-28
下地調整	ボード面 (新規面)		RB種	m <sup>2</sup>	301'	表 RA-17-28
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	302'	表 RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	303'	表 RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	304'	表 RA-17-29

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り（改修標仕仕様）\*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	305'	表 RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	306'	表 RA-17-29
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	307'	表 RA-17-24
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	308'	表 RA-17-24
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	309'	表 RA-17-24
下地調整	鉄鋼面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	310'	表 RA-17-24

## 【建築工事】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内 (仕様:第8節)	水系	B種	m <sup>2</sup>	B	2 ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面 (屋内外) 素地ごしらえ別途	A種	B種	m <sup>2</sup>	A	3 ÷ 119
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面 (屋内外) 素地ごしらえ別途	A種	B種	m <sup>2</sup>	A	4 ÷ 119
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	E-O	120 ÷ 121
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	E-O	—
SOP塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	D	9 ÷ d1
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	12 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	12 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	—
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	—
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	12 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	12 ÷ 122
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	—
EP塗り (合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	—
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	44 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	44 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	46 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	46 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	44 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	44 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	46 ÷ 122
EPG塗り (つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	46 ÷ 122

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要		単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別 作業工程			
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内木部 素地ごしらえ別途		m <sup>2</sup>	R - S	109 ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内鉄鋼面 錆止別途	A種	m <sup>2</sup>	R - S	111 ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内鉄鋼面 錆止別途	B種	m <sup>2</sup>	R - S	114 ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内亜鉛めつき鋼面 錆止別途別途		m <sup>2</sup>	R - S	117 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途	A種	m <sup>2</sup>	R - S	76 ÷ 122
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途	B種	m <sup>2</sup>	R - S	78 ÷ 122
CL塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	木部 素地ごしらえ別途	A種	m <sup>2</sup>	I - T	94 ÷ i
CL塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	木部 素地ごしらえ別途	B種	m <sup>2</sup>	I - T	-
LE塗(ラッカーエナメル塗)	木部 素地ごしらえ別途	A種	m <sup>2</sup>	I - T	95 ÷ i
LE塗(ラッカーエナメル塗)	木部 素地ごしらえ別途	B種	m <sup>2</sup>	I - T	96 ÷ i
SOP塗(合成樹脂調合ベイト塗)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種均)木部	1種 A種(屋外)	m	K	124 ÷ 125
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種均)木部		m	K	97 ÷ 125
CL塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種均)木部	A種	m	M	98 ÷ m
LE塗(ラッカーエナメル塗)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種均)木部	A種	m	M	129 ÷ m
LE塗(ラッカーエナメル塗)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種均)木部	B種	m	M	130 ÷ m
素地ごしらえ	木部	A種(屋外)	m <sup>2</sup>	O	126 ÷ 127
素地ごしらえ※	木部	B種	m <sup>2</sup>	O	99 ÷ 127
素地ごしらえ	木部(屋内) セラックニス	A種	m <sup>2</sup>	O	131 ÷ 127
素地ごしらえ	鉄鋼面	B種	m <sup>2</sup>	S	100 ÷ p1
素地ごしらえ	鉄鋼面	C種	m <sup>2</sup>	S	101 ÷ p1
素地ごしらえ	モルタル及びびりラスター面	A種	m <sup>2</sup>	S	102 ÷ p1
素地ごしらえ	モルタル及びびりラスター面 (付着物の除去)		m <sup>2</sup>	S	103 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面	A種	m <sup>2</sup>	S	104 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面	B種	m <sup>2</sup>	S	105 ÷ p1
素地ごしらえ	せっこうボード及びその他ボード面	A種	m <sup>2</sup>	P	106 ÷ 128
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面	A種	m <sup>2</sup>	S	107 ÷ p1
素地ごしらえ	押出成形セメント板面	A種	m <sup>2</sup>	Q	108 ÷ q

※素地ごしらえ 木部 B種は、単価記号 Tとする。

## 【建築工事】

## 【塗装改修】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	A種	m <sup>2</sup>	A	2' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	B種	m <sup>2</sup>	A	4' ÷ 119
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内外)塗替え面	A種	C種	m <sup>2</sup>	A	5' ÷ 119
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面	A種	A,B種	m <sup>2</sup>	A	6' ÷ 119
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	A種	m <sup>2</sup>	B	10' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	B種	m <sup>2</sup>	B	14' ÷ 1
錆止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内)塗替え面	水系	C種	m <sup>2</sup>	B	16' ÷ 1
錆止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内)新規面	水系	A,B種	m <sup>2</sup>	B	18' ÷ 1
SOP塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	K	39' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	K	40' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	K	41' ÷ 125
EPG塗り(つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	K	42' ÷ 125
EPG塗り(つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	K	43' ÷ 125
EPG塗り(つや有合成樹脂調合ベイト塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	K	44' ÷ 125
CL塗り(クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		A種	m	M	45' ÷ m
CL塗り(クリアラッカー塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	M	46' ÷ m
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	M	134' ÷ m
LE塗り(ラッカーエナメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	M	135' ÷ m
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下(付着除去 塗替面) 木部			m	N	47' ÷ n

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細 目	摘 要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1 種	A 種	m <sup>2</sup>	E - O	48' ÷ 121
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1 種	B 種	m <sup>2</sup>	E - O	50' ÷ 121
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1 種	C 種	m <sup>2</sup>	E - O	52' ÷ 121
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (新規面) 錆止別途 下地調整別途	1 種	A 種	m <sup>2</sup>	D	54' ÷ d1
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1 種	A 種	m <sup>2</sup>	D	319' ÷ d1
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (新規面) 錆止別途 下地調整別途	1 種	B 種	m <sup>2</sup>	D	55' ÷ d1
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1 種	B 種	m <sup>2</sup>	D	320' ÷ d1
SOP 塗り (合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (塗替え面) 錆止別途 下地調整別途	1 種	C 種	m <sup>2</sup>	D	61' ÷ d1
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	R - S	76' ÷ 122
アクリ樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	R - S	78' ÷ 122
CL 塗り (クリアラッカー塗り)	木部 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	I - T	105' ÷ i
CL 塗り (クリアラッカー塗り)	木部 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	I - T	—
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	I - T	132' ÷ i
LE 塗り (ラッカーエナメル塗り)	木部 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	I - T	133' ÷ i
OS 塗り	木部 付着物除去とも (塗替え面)			m <sup>2</sup>	J	—
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	ポर्ट面 (継目) 一般面 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	F - P	110' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	ポर्ट面 (継目) 見上げ面 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	F - P	110' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	ポर्ट面 (継目) 一般面 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	F - P	112' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	ポर्ट面 (継目) 見上げ面 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	F - P	112' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	ポर्ट面 (継目) 一般面 下地調整別途		C 種	m <sup>2</sup>	F - P	118' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	ポर्ट面 (継目) 見上げ面 下地調整別途		C 種	m <sup>2</sup>	F - P	118' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	R - S	110' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A 種	m <sup>2</sup>	R - S	110' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	R - S	112' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B 種	m <sup>2</sup>	R - S	112' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C 種	m <sup>2</sup>	R - S	118' ÷ 122
EP 塗り (合成樹脂エポキシペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C 種	m <sup>2</sup>	R - S	118' ÷ 122

## 【建築工事】

## \*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要		単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別 作業工程			
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	F-P	204' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	F-P	204' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	F-P	206' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	F-P	206' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	ボート面(継目) 一般面 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	F-P	212' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	ボート面(継目) 見上げ面 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	F-P	212' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	R-S	204' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	R-S	204' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	R-S	206' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	R-S	206' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	R-S	212' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	R-S	212' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内木部 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	R-S	182' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内木部 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	R-S	184' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内木部 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	R-S	186' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内鉄鋼面 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	R-S	188' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内鉄鋼面 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	R-S	191' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内鉄鋼面 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	R-S	194' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途	A種	m <sup>2</sup>	R-S	196' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途	B種	m <sup>2</sup>	R-S	199' ÷ 122
EPG塗(つや有合成樹脂珪酸エステル塗)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途	C種	m <sup>2</sup>	R-S	202' ÷ 122

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要		単位	市場単価	算定式	
	下地種類等	塗装種別				作業工程
下地調整	木部（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	O	276' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）セラックニス		RA種	m <sup>2</sup>	O	311' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(塗外)	m <sup>2</sup>	O	318' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	O	277' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	O	278' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	O	279' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）セラックニス		RA種	m <sup>2</sup>	O	312' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）		RA種(塗外)	m <sup>2</sup>	O	321' ÷ 127
下地調整	木部（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	O	280' ÷ 127
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	281' ÷ p1
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	282' ÷ p1
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	283' ÷ p1
下地調整	モルタル面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	284' ÷ p1
下地調整	モルタル面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	285' ÷ p1
下地調整	モルタル面 付着物除去			m <sup>2</sup>	S	286' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	287' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	288' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	289' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	290' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	291' ÷ p1
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	Q	292' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	Q	293' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	Q	294' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	Q	295' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	Q	—
下地調整	ボード面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	P	297' ÷ 128
下地調整	ボード面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	P	298' ÷ 128
下地調整	ボード面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	P	299' ÷ 128
下地調整	ボード面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	P	300' ÷ 128
下地調整	ボード面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	P	301' ÷ 128
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	302' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	303' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	304' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	305' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（新規面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	306' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	307' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	308' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	309' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	310' ÷ p1



## 【建築工事】

\*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	備考	
	下地種類等	塗装種別	作業工程				
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	313'	【改修標仕仕様】 めっき鋼面の下地調整錆止め塗料用※	
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	314'		
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	315'		
下地調整	亜鉛めっき面(新規面)		RA種	m <sup>2</sup>	316'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)新規面	A種	A種	m <sup>2</sup>	cl	【改修標仕仕様】 めっき鋼面の錆止め塗料塗り※ めっき鋼面(鋼建)の錆止め塗料塗り※	
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	C種	A種	m <sup>2</sup>	20'		
錆止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	A種	A種	m <sup>2</sup>	29'		
錆止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	C種	A種	m <sup>2</sup>	19'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	A種	B種	m <sup>2</sup>	31'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	C種	B種	m <sup>2</sup>	21'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	A種	C種	m <sup>2</sup>	32'		
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	C種	C種	m <sup>2</sup>	22'		
錆止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)新規面	A種	A,B種	m <sup>2</sup>	33'		
錆止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	C種	A,B種	m <sup>2</sup>	23'		
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	62'		【改修標仕仕様】 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)※
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	63'		
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	67'		

※営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）塗替え面	水系	A種	m <sup>2</sup>	B	19' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）新規面	水系	A種	m <sup>2</sup>	B	20' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）塗替え面	水系	B種	m <sup>2</sup>	B	21' ÷ 1
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）塗替え面	水系	C種	m <sup>2</sup>	B	22' ÷ 1
錆止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内）新規面	水系	A,B種	m <sup>2</sup>	B	23' ÷ 1
錆止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）塗替え面	A種	A種	m <sup>2</sup>	C	29' ÷ c1
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）新規面	A種	A種	m <sup>2</sup>	C	—
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）塗替え面	A種	B種	m <sup>2</sup>	C	31' ÷ c1
錆止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）塗替え面	A種	C種	m <sup>2</sup>	C	32' ÷ c1
錆止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）新規面	A種	A,B種	m <sup>2</sup>	C	33' ÷ c1
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）錆止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	D	62' ÷ d1
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）錆止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	D	64' ÷ d1
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面（屋内外）錆止別途 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	D	67' ÷ d1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	313' ÷ p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	314' ÷ p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	315' ÷ p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面（新規面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	316' ÷ p1

## 【建築工事】

## 【内外装】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	U	
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	A	
階段ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	V	
階段ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	B	
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT	m <sup>2</sup>	C	
階段ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT	m <sup>2</sup>	D	
床タイルカーペット張り	全厚 6.5mm 500 角 第一種ループパイル(一般事務室用)	m <sup>2</sup>	E	
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H60mm	m	F	
ささらビニル幅木 (ソフト幅木)	H330mm	m	G	
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード厚 12.5mm 共	m <sup>2</sup>	I	
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け GL 工法	m <sup>2</sup>	J	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	
天井 不燃化粧せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	L	
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚 8.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	M	
壁 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚 8.0mm 不燃 目透し	m <sup>2</sup>	N	
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚 6.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	O	
天井 けい酸カルシウム板張り	(タイプ 2,無石綿,0.8FK) 厚 6.0mm 不燃 目透し	m <sup>2</sup>	P	
天井 吸音板張り(内部用)	厚 9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5mm 共	m <sup>2</sup>	Q	
天井 吸音板張り(内部用)	厚 12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	
せっこうボード継目処理	継目処理工法 (テーパエッジ)	m <sup>2</sup>	S	
せっこうボード継目処理	V 目地工法 (ヘベルエッジ)	m <sup>2</sup>	T	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート 無地 FS 厚さ 2.5)	m <sup>2</sup>	a2	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート 無地 FS 厚さ 2.0)	m <sup>2</sup>	a26	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート マーブル FS 厚さ 2.0)	m <sup>2</sup>	a27	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (織布積層ビニル床シート マーブル FS 厚さ 2.5)	m <sup>2</sup>	a28	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (半硬質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 一般床)	m <sup>2</sup>	a3	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (半硬質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 多湿部)	m <sup>2</sup>	a29	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (軟質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 一般床)	m <sup>2</sup>	a30	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (軟質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2 多湿部)	m <sup>2</sup>	a31	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (半硬質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2)	m <sup>2</sup>	a4	表 RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (軟質 コンポジションビニル床タイル KT 厚さ 2)	m <sup>2</sup>	a32	表 RA-18-1
ビニル幅木張り	一般 (高さ 60)	m	a5	表 RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ 75)	m	a33	表 RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ 100)	m	a34	表 RA-18-2
ビニル幅木張り	階段ささら (高さ 330)	m	a6	表 RA-18-2
壁 せっこうボード張り	突付け (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a8	表 RA-18-3
壁 せっこうボード張り	突付け (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a38	表 RA-18-3

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
壁せっこうボード張り	突付け (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a77	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a86	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (吸音用あなあきせっこうボード 厚 9.5 φ 6-22 不燃紙裏打ち 準不燃)	m <sup>2</sup>	a111	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (シージングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a112	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (シージングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a137	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (強化せっこうボード 厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a156	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け (強化せっこうボード 厚 21 不燃)	m <sup>2</sup>	a161	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a41	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a63	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a78	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a89	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (シージングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a115	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地 (シージングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a139	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a44	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a65	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a79	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a92	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (シージングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a118	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし (シージングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a141	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a47	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a67	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a80	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a95	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (シージングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a121	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (シージングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a143	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (強化せっこうボード 厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a154	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理 (強化せっこうボード 厚 21 不燃)	m <sup>2</sup>	a159	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a50	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a69	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a81	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a98	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (シージングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a124	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (シージングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a145	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (強化せっこうボード 厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a158	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り (強化せっこうボード 厚 21 不燃)	m <sup>2</sup>	a163	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	ラボード (厚 9.5)	m <sup>2</sup>	a164	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a10	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a51	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a82	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (不燃積層 厚 9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a99	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (シージングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a125	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け (シージングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a146	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け V目地 (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a54	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け V目地 (厚 15 不燃)	m <sup>2</sup>	a83	表 RA-18-3

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a102	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(シジツクせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a128	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(シジツクせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a148	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a59	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a74	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a84	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a107	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(シジツクせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a133	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理(シジツクせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a151	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a62	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a76	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a85	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a110	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(シジツクせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a136	表 RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り(シジツクせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a153	表 RA-18-3
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a11	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a165	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a168	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a173	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け(タイプ2ノアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a176	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a12	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a166	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a169	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a174	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし(タイプ2ノアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a178	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a172	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a167	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a170	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a175	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り(タイプ2ノアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a179	表 RA-18-5
天井せっこうボード張り	突付け(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a13	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a180	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a184	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(シジツクせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a192	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(シジツクせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a196	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(化粧せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a200	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け(吸音用あなあきせっこうボード 厚9.5 φ6-22 不燃紙裏打ち 準不燃)	m <sup>2</sup>	a191	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a181	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(厚12.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a185	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a188	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(シジツクせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a193	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(シジツクせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a197	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a182	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a186	表 RA-18-4

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
天井せっこうボード張り	継目処理 (不燃積層 厚 9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a189	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理 (シーリングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a194	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理 (シーリングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a198	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a183	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a187	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	化粧ボード (不燃積層 厚 9.5 不燃 化粧有りトラバチン)	m <sup>2</sup>	a14	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (不燃積層 厚 9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a190	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (シーリングせっこうボード 厚 9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a195	表 RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り (シーリングせっこうボード 厚 12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a199	表 RA-18-4
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 軽天直張り (厚 9 不燃)	m <sup>2</sup>	a202	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 軽天直張り (厚 12 不燃)	m <sup>2</sup>	a203	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 9 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m <sup>2</sup>	a15	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 9 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a228	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 12.0 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m <sup>2</sup>	a229	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a230	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 外部用 下地張り共 (厚 9 不燃 下地シーリングせっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a231	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 外部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地シーリングせっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a232	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m <sup>2</sup>	a16	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a208	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 15 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m <sup>2</sup>	a233	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 15 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a209	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 19 不燃 下地不燃積層せっこうボード厚 9.5)	m <sup>2</sup>	a234	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共 (厚 19 不燃 下地せっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a211	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 外部用 下地張り共 (厚 12 不燃 下地シーリングせっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a235	表 RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 外部用 下地張り共 (厚 15 不燃 下地シーリングせっこうボード厚 12.5)	m <sup>2</sup>	a236	表 RA-18-6

## 【建築工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 6)	m <sup>2</sup>	a17	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 5)	m <sup>2</sup>	a215	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 8)	m <sup>2</sup>	a219	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 10)	m <sup>2</sup>	a222	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 突付け (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 12)	m <sup>2</sup>	a225	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 6)	m <sup>2</sup>	a18	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 5)	m <sup>2</sup>	a216	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 8)	m <sup>2</sup>	a220	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 10)	m <sup>2</sup>	a223	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 目透かし (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 12)	m <sup>2</sup>	a226	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 5)	m <sup>2</sup>	a217	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 6)	m <sup>2</sup>	a218	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 8)	m <sup>2</sup>	a221	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 10)	m <sup>2</sup>	a224	表 RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	天井 下地張り (タイプ 2 ノアス 0.8FK 厚 12)	m <sup>2</sup>	a227	表 RA-18-5

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
階段ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m <sup>2</sup>	V	a27 ÷ a26
階段ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS	m <sup>2</sup>	B	a28 ÷ a2
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT 多湿部	m <sup>2</sup>	C	a29 ÷ a3
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m <sup>2</sup>	C	a30 ÷ a3
床ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT 多湿部	m <sup>2</sup>	C	a31 ÷ a3
階段ビニル床タイル張り	厚 2.0mm コンポジションビニル床タイル 軟質 KT	m <sup>2</sup>	D	a32 ÷ a4
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	F	a33 ÷ a5
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	F	a34 ÷ a5



## 【建築工事】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a38 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a41 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a44 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a50 ÷ a69
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a51 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a54 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a62 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a63 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a65 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	1.00
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m <sup>2</sup>	J	1.00
壁 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a76 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a77 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a78 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a79 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a81 ÷ a69
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付け GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a82 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a83 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 下地張り GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a85 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a86 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a89 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a92 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a98 ÷ a69
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付け GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a99 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a102 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 下地張り GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a110 ÷ a10
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a112 ÷ a8
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a115 ÷ a8
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a118 ÷ a8
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a124 ÷ a69
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a125 ÷ a10
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a128 ÷ a10
壁 シズクせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a136 ÷ a10
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a137 ÷ a8
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a139 ÷ a8
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a141 ÷ a8
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a145 ÷ a69
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a146 ÷ a10
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付けV目地 GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a148 ÷ a10
壁 シズクせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り GL 工法	m <sup>2</sup>	J	a153 ÷ a10

※壁せっこうボード張り、壁不燃積層せっこうボード張り、壁シズクせっこうボード張りで継目処理の場合は、上記に記載されている突付け仕様の市場補正単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法（テーパ－エッジ）【単価記号S】」の市場単価を加算する。

## 【建築工事】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
壁 強化せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a156 ÷ a8
壁 強化せっこうボード張り	厚 15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I - H	a158 ÷ a69
壁 強化せっこうボード張り	厚 21.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a161 ÷ a8
壁 強化せっこうボード張り	厚 21.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I - H	a163 ÷ a69
壁 吸音用穴あきせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ 6-22	m <sup>2</sup>	H	a111 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚 9.5mm 下地張り	m <sup>2</sup>	I - H	a164 ÷ a69
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a165 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a166 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a167 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a168 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a169 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a170 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a172 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a173 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a174 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a175 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a176 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a178 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a179 ÷ a11

※壁強化せっこうボード張りで継目処理の場合は上記に記載されている突付け仕様の市場補正単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法 (テープ・エッジ) 【単価記号S】」の市場単価を加算する。

## 【建築工事】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
天井 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a180 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a181 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a183 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a184 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a185 ÷ a13
天井 せっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a187 ÷ a13
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a188 ÷ a13
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚 9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a190 ÷ a13
天井 吸音用穴あきせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ 6-22	m <sup>2</sup>	K	a191 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a192 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a193 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a195 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a196 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a197 ÷ a13
天井 シジグせっこうボード張り	厚 12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a199 ÷ a13
天井 化粧せっこうボード張り	厚 9.5mm 準不燃 突付け トラバーチン	m <sup>2</sup>	L	a200 ÷ a14
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a215 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a216 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 5.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a217 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 6.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a218 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a219 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a220 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 8.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a221 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a222 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a223 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 10.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a224 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 突付け (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a225 ÷ a17
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 目透かし (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a226 ÷ a18
天井 けい酸カルシウム板張り	厚 12.0mm 不燃 下地張り (タイプ 2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a227 ÷ a17

※天井せっこうボード張り、天井不燃積層せっこうボード張り、天井シジグせっこうボード張りで継目処理の場合は、上記に記載されている突付け仕様の市場補正単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法 (テープ・エッジ)」

【単価記号 S】の市場単価を加算する。

## 【建築工事】

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	Q	a228 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm 共	m <sup>2</sup>	Q	a229 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	Q	a230 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	Q	a202 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	Q	a203 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	Q	a231 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	Q	a232 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a208 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a233 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a209 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a234 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a211 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a235 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地-ジソグせっこうボード厚12.5mm 共	m <sup>2</sup>	R	a236 ÷ a16

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a19'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a22'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a20'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a23'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a1	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a24'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a21'	表 RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a25'	表 RA-18-1

## \*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
ビニル床シート熱溶接工法加算額		m <sup>2</sup>	b	ビニル床シート熱溶接工法加算額※1
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 60)	m	a35	階段ビニル幅木張り※2
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 75)	m	a36	
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稲妻 高さ 100)	m	a37	

※1 営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り

※2 営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

## 【建築工事】

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m <sup>2</sup>	U	$(a22' + b) \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m <sup>2</sup>	U	$a19' \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m <sup>2</sup>	U	$a22' \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	U	$(a20' + b) \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	U	$(a23' + b) \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	U	$a20' \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.0mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	U	$a23' \div (a19' + b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m <sup>2</sup>	A	$(a24' + b) \div (a1+b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m <sup>2</sup>	A	$a1 \div (a1+b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m <sup>2</sup>	A	$a24' \div (a1+b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	A	$(a21' + b) \div (a1+b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	A	$(a25' + b) \div (a1+b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	A	$a21' \div (a1+b)$
床ビニル床シート張り	厚 2.5mm 織布積層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	A	$a25' \div (a1+b)$
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=60mm	m	G	$a35 \div a6$
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	G	$a36 \div a6$
稲妻ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	G	$a37 \div a6$

## 【配管工事1】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 1】 耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込、露出配管

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	A	$a \div q$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	B	$b \div r$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	C	$c \div s$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 36	m	D	$d \div t$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 42	m	E	$e \div u$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 54	m	F	$f \div v$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 70	m	G	$g \div w$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 82	m	H	$h \div x$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 16	m	I	$i \div y$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 22	m	J	$j \div z$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 28	m	K	$k \div \alpha$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 36	m	L	$l \div \beta$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 42	m	M	$m \div \gamma$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 54	m	N	$n \div \delta$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 70	m	O	$o \div \varepsilon$
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 82	m	P	$p \div \zeta$

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	A	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	B	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	C	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 36	m	D	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 42	m	E	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 54	m	F	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 70	m	G	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 82	m	H	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 16	m	I	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 22	m	J	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 28	m	K	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 36	m	L	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 42	m	M	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 54	m	N	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 70	m	O	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 82	m	P	

## 【配管工事1】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	a	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	b	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	c	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 36	m	d	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 42	m	e	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 54	m	f	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 70	m	g	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 隠ぺい配管 82	m	h	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 16	m	i	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 22	m	j	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 28	m	k	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 36	m	l	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 42	m	m	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 54	m	n	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 70	m	o	表RE-1-1
電線管	耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE) 露出配管 82	m	p	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 16	m	q	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 22	m	r	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい・埋込配管 28	m	s	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 36	m	t	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 42	m	u	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 54	m	v	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 70	m	w	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい配管 82	m	x	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 16	m	y	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 22	m	z	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 28	m	α	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 36	m	β	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 42	m	γ	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 54	m	δ	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 70	m	ε	表RE-1-1
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 露出配管 82	m	ζ	表RE-1-1

## 【配管工事2】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 2】 ケーブルラック ZT 1段目・2段積の2段目

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 200 (1段目)	m	A	a ÷ k
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 300 (1段目)	m	B	b ÷ l
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 400 (1段目)	m	C	c ÷ m
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 500 (1段目)	m	D	d ÷ n
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 600 (1段目)	m	E	e ÷ o
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 200 (2段積の2段目)	m	F	f ÷ p
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 300 (2段積の2段目)	m	G	g ÷ q
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 400 (2段積の2段目)	m	H	h ÷ r
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 500 (2段積の2段目)	m	I	i ÷ s
ケーブルラック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 600 (2段積の2段目)	m	J	j ÷ t

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (1段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目)	m	J	



## 【配管工事2】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 200 (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 300 (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 400 (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 500 (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 600 (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 200 (2段積の2段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 300 (2段積の2段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 400 (2段積の2段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 500 (2段積の2段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルック	トレ形 溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 透明塗装 600 (2段積の2段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (1段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (1段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (1段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4

## 【配管工事3】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 3】 ケーブルラック ZM-BS

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400BS	m	A	a ÷ f
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500BS	m	B	b ÷ g
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600BS	m	C	c ÷ h
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800BS	m	D	d ÷ i
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000BS	m	E	e ÷ j

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400B (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500B (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600B (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800B (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000B (1段目)	m	E	

\*\* 参考歩掛り \*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400BS 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500BS 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600BS 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800BS 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000BS 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400B (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500B (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4

## 【配管工事4】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 4】 ケーブルラック ZM 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目)	m	L	

## 【配管工事4】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配管工事5】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 5】 ケーブルラック Z35 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B (2段積の2段目)	m	L	

## 【配管工事5】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z25溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配管工事6】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 6】 ケーブルラック Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製)

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (1段目)	m	A	$a \div y$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (1段目)	m	B	$b \div z$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (1段目)	m	C	$c \div \alpha$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (1段目)	m	D	$d \div \beta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (1段目)	m	E	$e \div \gamma$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (1段目)	m	F	$f \div \delta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (1段目)	m	G	$g \div \varepsilon$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (1段目)	m	H	$h \div \zeta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (1段目)	m	I	$i \div \eta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (1段目)	m	J	$j \div \theta$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (1段目)	m	K	$k \div \iota$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (1段目)	m	L	$l \div \kappa$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目)	m	M	$m \div \lambda$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目)	m	N	$n \div \mu$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目)	m	O	$o \div \nu$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目)	m	P	$p \div \xi$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目)	m	Q	$q \div \omicron$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目)	m	R	$r \div \pi$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目)	m	S	$s \div \rho$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目)	m	T	$t \div \sigma$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目)	m	U	$u \div \tau$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目)	m	V	$v \div \upsilon$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目)	m	W	$w \div \phi$
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目)	m	X	$x \div \chi$

## 【配管工事6】

## 【電気設備工事】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (1段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (1段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (1段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (1段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (1段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (1段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (1段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (1段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (1段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (1段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B (1段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B (1段目)	m	L	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (2段目)	m	M	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (2段目)	m	N	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (2段目)	m	O	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (2段目)	m	P	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (2段目)	m	Q	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (2段目)	m	R	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (2段目)	m	S	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (2段目)	m	T	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (2段目)	m	U	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (2段目)	m	V	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B (2段目)	m	W	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B (2段目)	m	X	



## 【配管工事6】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (1段目) 支持材加算	m	y	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (1段目) 支持材加算	m	z	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (1段目) 支持材加算	m	α	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (1段目) 支持材加算	m	β	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (1段目) 支持材加算	m	γ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (1段目) 支持材加算	m	δ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (1段目) 支持材加算	m	ε	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (1段目) 支持材加算	m	ζ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (1段目) 支持材加算	m	η	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (1段目) 支持材加算	m	θ	表RE-1-4

## 【配管工事6】

## 【電気設備工事】

ケーブルラック	はしご形 (1段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	800B	m	ι	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (1段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	1000B	m	κ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	200A	m	λ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	300A	m	μ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	400A	m	ν	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	500A	m	ξ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	600A	m	ο	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	800A	m	π	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	1000A	m	ρ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	400B	m	σ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	500B	m	τ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	600B	m	υ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	800B	m	φ	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 (2段目)	Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 支持材加算	1000B	m	χ	表RE-1-4

## 【配管工事7】

## 【電気設備工事】

【配管工事 7】 ケーブルラック Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製）支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 200A 支持材別途	m	A	$a \div m$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 300A 支持材別途	m	B	$b \div n$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 400A 支持材別途	m	C	$c \div o$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 500A 支持材別途	m	D	$d \div p$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 600A 支持材別途	m	E	$e \div q$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 800A 支持材別途	m	F	$f \div r$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 1000A 支持材別途	m	G	$g \div s$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 400B 支持材別途	m	H	$h \div t$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 500B 支持材別途	m	I	$i \div u$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 600B 支持材別途	m	J	$j \div v$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 800B 支持材別途	m	K	$k \div w$
ケーブルラック	はしご形 Z35（溶融亜鉛－アルミニウム系合金めっき鋼板製） 1000B 支持材別途	m	L	$l \div x$

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )製 1000B (2段積の2段目)	m	L	

## 【配管工事7】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 Z35 (溶融亜鉛-アルミニウム系合金めっき鋼板製) 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配管工事8】

## 【電気設備工事】

## 【配管工事 8】 ケーブルラック AL 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A 支持材別途	m	A	$a \div m$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A 支持材別途	m	B	$b \div n$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A 支持材別途	m	C	$c \div o$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A 支持材別途	m	D	$d \div p$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A 支持材別途	m	E	$e \div q$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A 支持材別途	m	F	$f \div r$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A 支持材別途	m	G	$g \div s$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B 支持材別途	m	H	$h \div t$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B 支持材別途	m	I	$i \div u$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B 支持材別途	m	J	$j \div v$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B 支持材別途	m	K	$k \div w$
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B 支持材別途	m	L	$l \div x$

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B (2段積の2段目)	m	L	

## 【配管工事8】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配線工事1】

## 【電気設備工事】

## 【配線工事 1】 600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 及び600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	A	b ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	C	e ÷ h
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	A	f ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	B	g ÷ d
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	D	j ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	D	k ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	D	l ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	D	m ÷ i
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	E	n ÷ p
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	E	o ÷ p
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	G	r ÷ u
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	s ÷ p
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	t ÷ q
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	H	w ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	H	x ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	H	y ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	H	z ÷ v

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	A	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	B	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	C	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイェン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	D	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	F	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	H	

## 【配線工事1】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	x	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-8



## 【配線工事2】

## 【電気設備工事】

## 【配線工事 2】 600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ s
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.2mm	m	B	b ÷ t
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.6mm	m	C	c ÷ u
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2.0mm	m	D	d ÷ v
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2.6mm	m	E	e ÷ w
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ x
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ y
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ z
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ α
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ β
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ γ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ δ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ ε
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ ζ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ η
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ θ
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ ι
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	R	r ÷ κ

\*\* 市場単価及び補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	A	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	B	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	C	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	D	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	F	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	G	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	H	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	I	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	J	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	K	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイソロン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	L	

## 【配線工事2】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm2	m	M	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm2	m	N	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm2	m	O	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm2	m	P	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm2	m	Q	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm2	m	R	

\*\* 参考歩掛り \*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 2mm2	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 3.5mm2	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 5.5mm2	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 8mm2	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 14mm2	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 22mm2	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 38mm2	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 60mm2	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 100mm2	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 150mm2	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 200mm2	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 250mm2	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 325mm2	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm2	m	x	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm2	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリイフシ絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm2	m	z	表RE-1-8

## 【配線工事2】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	$\alpha$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	$\beta$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	$\gamma$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	$\delta$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	$\varepsilon$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	$\zeta$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	$\eta$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	$\theta$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	$\iota$	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリゾン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	$\kappa$	表RE-1-8

## 【配線工事3】

## 【電気設備工事】

## 【配線工事 3】 600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ s
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	B	b ÷ t
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	C	c ÷ u
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	D	d ÷ v
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	E	e ÷ w
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ x
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ y
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ z
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ α
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ β
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ γ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ δ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ ε
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ ζ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ η
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ θ
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ ι
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	R	r ÷ κ

\*\* 市場単価及び補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	A	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	B	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	C	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	D	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	F	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	G	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	H	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	I	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	J	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	K	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	L	

## 【配線工事3】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	M	
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	N	
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	O	
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	P	
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	Q	
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	R	

\*\* 参考歩掛り \*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) PF及びびCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.0mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	x	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>t</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	y	表RE-1-8

## 【配線工事3】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600 <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	θ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	ι	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V <sup>レ</sup> ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	κ	表RE-1-8

## 【配線工事4】

## 【電気設備工事】

## 【配線工事 4】 600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2mm	m	A	a ÷ r
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.6mm	m	B	b ÷ s
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.0mm	m	C	c ÷ t
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.6mm	m	D	d ÷ u
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	e ÷ v
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ w
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ x
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ y
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ z
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ α
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ β
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ γ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ δ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ ε
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ ζ
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ η
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ θ

\*\* 市場単価及び補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	A	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	B	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	C	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	D	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J	
600V絶縁電線	600Vt'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K	

## 【配線工事4】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm2	m	L	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm2	m	M	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm2	m	N	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm2	m	O	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm2	m	P	
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm2	m	Q	

\*\* 参考歩掛り \*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.6mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.0mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.6mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2mm2	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 3.5mm2	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 5.5mm2	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 8mm2	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 14mm2	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 22mm2	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 38mm2	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 60mm2	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 100mm2	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 150mm2	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 200mm2	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 250mm2	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 325mm2	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm2	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm2	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種t'ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm2	m	x	表RE-1-8



## 【配線工事4】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	θ	表RE-1-8

## 【配線工事5】

## 【電気設備工事】

【配線工事 5】 600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 1.2mm	m	A	a ÷ r
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 1.6mm	m	B	b ÷ s
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 2.0mm	m	C	c ÷ t
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 2.6mm	m	D	d ÷ u
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	e ÷ v
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ w
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ x
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ y
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ z
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ $\alpha$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ $\beta$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ $\gamma$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ $\delta$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ $\epsilon$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ $\zeta$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ $\eta$
600V絶縁電線	600V二種 $\epsilon$ ニル絶縁電線 (HIV) PF及び $\phi$ CD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ $\theta$

\*\* 市場単価及び補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	A	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	B	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	C	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	D	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J	
600V絶縁電線	600V $\epsilon$ ニル絶縁電線 (IV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K	

## 【配線工事5】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 60mm2	m	L	
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 100mm2	m	M	
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 150mm2	m	N	
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 200mm2	m	O	
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 250mm2	m	P	
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 325mm2	m	Q	

\*\* 参考歩掛り \*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 1.2mm	m	a	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 1.6mm	m	b	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 2.0mm	m	c	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 2.6mm	m	d	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 2mm2	m	e	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 3.5mm2	m	f	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 5.5mm2	m	g	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 8mm2	m	h	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 14mm2	m	i	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 22mm2	m	j	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 38mm2	m	k	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 60mm2	m	l	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 100mm2	m	m	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 150mm2	m	n	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 200mm2	m	o	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 250mm2	m	p	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 325mm2	m	q	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 1.2mm	m	r	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 1.6mm	m	s	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 2.0mm	m	t	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 2.6mm	m	u	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 2mm2	m	v	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 3.5mm2	m	w	表RE-1-8
600V絶縁電線	600V二種絶縁電線 (IV) 管内配線 5.5mm2	m	x	表RE-1-8

## 【配線工事5】

## 【電気設備工事】

600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	y	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	α	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	β	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	γ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	δ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	ε	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	ζ	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	η	表RE-1-8
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線(IV)管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	θ	表RE-1-8

## 【配線工事6】

## 【電気設備工事】

## 【配線工事 6】 600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF)

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	B	c ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	D	f ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーサドル止め 1.6mm-2C	m	A	g ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーサドル止め 2.0mm-2C	m	B	h ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーサドル止め 2.6mm-2C	m	B	i ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーサドル止め 1.6mm-3C	m	C	j ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーサドル止め 2.0mm-3C	m	D	k ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーサドル止め 2.6mm-3C	m	D	l ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブ ラグ 含む) 1.6mm-2C	m	A	m ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブ ラグ 含む) 2.0mm-2C	m	B	n ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブ ラグ 含む) 2.6mm-2C	m	B	o ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブ ラグ 含む) 1.6mm-3C	m	C	p ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブ ラグ 含む) 2.0mm-3C	m	D	q ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブ ラグ 含む) 2.6mm-3C	m	D	r ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	A	s ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	B	t ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	B	u ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	C	v ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	D	w ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	D	x ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	A	y ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	B	z ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	B	α ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	C	β ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	D	γ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	D	δ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A	ε ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B	ζ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B	η ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C	θ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D	ι ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエン絶縁耐燃性ホリエンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D	κ ÷ e

## 【配線工事6】

## 【電気設備工事】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	a	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	b	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	c	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	d	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	e	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	f	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 1.6mm-2C	m	g	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.0mm-2C	m	h	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.6mm-2C	m	i	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 1.6mm-3C	m	j	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.0mm-3C	m	k	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステーブル止め 2.6mm-3C	m	l	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラカ含む) 1.6mm-2C	m	m	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラカ含む) 2.0mm-2C	m	n	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラカ含む) 2.6mm-2C	m	o	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラカ含む) 1.6mm-3C	m	p	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラカ含む) 2.0mm-3C	m	q	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラカ含む) 2.6mm-3C	m	r	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	s	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	t	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	u	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	v	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	w	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	x	表RE-1-9

## 【配線工事6】

## 【電気設備工事】

600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	y	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	z	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	α	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	β	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	γ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	δ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	ε	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	ζ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	η	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	θ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	ι	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエルン絶縁耐燃性ホリエルンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	κ	表RE-1-9

## 【配線工事7】

## 【電気設備工事】

## 【配線工事 7】 600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF)

\*\* 補正市場単価 \*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	B	c ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	D	f ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-2C	m	A	g ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-2C	m	B	h ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-2C	m	B	i ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-3C	m	C	j ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-3C	m	D	k ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-3C	m	D	l ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 1.6mm-2C	m	A	m ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.0mm-2C	m	B	n ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.6mm-2C	m	B	o ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 1.6mm-3C	m	C	p ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.0mm-3C	m	D	q ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラグ含む) 2.6mm-3C	m	D	r ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	A	s ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	B	t ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	B	u ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	C	v ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	D	w ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	D	x ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-2C	m	A	y ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-2C	m	B	z ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-2C	m	B	α ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-3C	m	C	β ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-3C	m	D	γ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-3C	m	D	δ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A	ε ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B	ζ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B	η ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C	θ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D	ι ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D	κ ÷ e



【配線工事7】

【電気設備工事】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	a	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	b	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	c	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	d	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	e	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	f	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-2C	m	g	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-2C	m	h	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-2C	m	i	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6mm-3C	m	j	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-3C	m	k	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-3C	m	l	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 1.6mm-2C	m	m	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.0mm-2C	m	n	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.6mm-2C	m	o	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 1.6mm-3C	m	p	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.0mm-3C	m	q	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF) コンクリート部分にサドル止め(カルブラグ含む) 2.6mm-3C	m	r	表RE-1-9

## 【配線工事7】

## 【電気設備工事】

600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	s	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	t	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	u	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	v	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	w	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	x	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-2C	m	y	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-2C	m	z	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-2C	m	α	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 1.6mm-3C	m	β	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.0mm-3C	m	γ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) 管内配線 2.6mm-3C	m	δ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 1.6mm-2C	m	ε	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.0mm-2C	m	ζ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.6mm-2C	m	η	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 1.6mm-3C	m	θ	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.0mm-3C	m	ι	表RE-1-9
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (VVF) PF及びびCD管内配線 2.6mm-3C	m	κ	表RE-1-9

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*市場単価\*\* (ガラスウール)

項目	摘	要	単位	単価記号	備考
給水管・排水管・ 給湯管及び温水管 (膨張管を含む)	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	A	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	B	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	D	
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む)及び、浴室厨房 などの多湿箇所(厨房の天井 内は含まない)	ステンレス鋼板	m	E	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	F	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	G	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	H	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	I	
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む)及び、浴室厨房 などの多湿箇所(厨房の天井 内は含まない)	ステンレス鋼板	m	J	
蒸気管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	K	
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	L	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	N	
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む)及び、浴室厨房 などの多湿箇所(厨房の天井 内は含まない)	ステンレス鋼板	m	O	

(注) 補正市場単価は、附表M5～附表M7による。

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*参考歩掛り\*\*（グラスウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号		
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Ag	表RM-1-12		
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	B①g			
		アルミガラス化粧原紙	m	B②g			
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①g			
		アルミガラス化粧保温筒	m	C②g			
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Dg			
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	E①g			
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②g			
		ステンレス鋼板	m	E③g			
	冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m		Fg	表RM-1-13
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m	G①g			
		アルミガラス化粧原紙	m	G②g			
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	Hg			
床下及び暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m	Ig			
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m	J①g			
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②g			
		ステンレス鋼板	m	J③g			
蒸気管		屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Kg	表RM-1-15	
		機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	L①g		
	アルミガラス化粧原紙		m	L②g			
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	M①g			
		アルミガラス化粧保温筒	m	M②g			
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Ng			
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	O①g			
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	O②g			
		ステンレス鋼板	m	O③g			
	冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Vg		表RM-1-14
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m	W①g			
		アルミガラス化粧原紙	m	W②g			
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	Xg			
床下及び暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m	Yg			
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m	Z①g			
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	Z②g			
		ステンレス鋼板	m	Z③g			

\*\*【H19標仕仕様】参考歩掛り\*\*（グラスウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	綿 布	m	AG'	表H19-RM-1-6
冷水管・冷温水管	屋内露出	綿 布	m	FG'	表H19-RM-1-7
蒸気管	屋内露出	綿 布	m	KG'	表H19-RM-1-8

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*参考歩掛り\*\*（ロックウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Ar	表RM-1-8
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	B①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	B②r	
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①r	
		アルミガラス化粧保温筒	m	C②r	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Dr	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	E①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②r	
		ステンレス鋼板	m	E③r	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Fr	表RM-1-9
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	G①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	G②r	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	Hr	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Ir	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	J①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②r	
		ステンレス鋼板	m	J③r	
	蒸気管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m	L①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	L②r	
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	M①r	
		アルミガラス化粧保温筒	m	M②r	
床下及び暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m	Nr	
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m	O①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	O②r	
		ステンレス鋼板	m	O③r	
冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Vr	表RM-1-10
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	W①r	
		アルミガラス化粧原紙	m	W②r	
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	Xr	
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	Yr	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	Z①r	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	Z②r	
		ステンレス鋼板	m	Z③r	

\*\*【H19標仕仕様】参考歩掛り\*\*（ロックウール）

項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む）	屋内露出	綿 布	m	AR'	表H19-RM-1-3
冷水管・冷温水管	屋内露出	綿 布	m	FR'	表H19-RM-1-4
蒸気管	屋内露出	綿 布	m	KR'	表H19-RM-1-5

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*参考歩掛り\*\*（ポリスチレンフォーム）

項目	摘 要		単位	歩掛り記号	表 番 号
給水管・排水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Ap	表RM-1-4
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Bp	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①p	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②p	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	Dp	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下 を含む)及び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	E①p	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②p	
ステンレス鋼板		m	E③p		
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Fp	表RM-1-5
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Gp	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hp	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	Ip	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下 を含む)及び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	J①p	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②p	
		ステンレス鋼板	m	J③p	
冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Pp	表RM-1-6
ブライン管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	Qp	表RM-1-7
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	Rp	
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Sp	
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	Tp	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下 を含む)及び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	U①p	
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	U②p	
		ステンレス鋼板	m	U③p	

\*\*【H19標仕仕様】参考歩掛り\*\*（ポリスチレンフォーム）

項目	摘 要		単位	歩掛り記号	表 番 号
給水管・排水管	屋内露出	綿 布	m	AP'	表H19-RM-1-1
冷水管・冷温水管	屋内露出	綿 布	m	FP'	表H19-RM-1-2

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*補正市場単価\*\*（ガラスウール）

項目	摘	要	単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管・排水管・ 給湯管及び温水管 (膨張管を含む)	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	-	B	$B②g \div B①g$
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	C	$C①g \div C②g$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及 び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	E	$E①g \div E③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	E	$E②g \div E③g$
冷水管・冷温水管	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	-	G	$G②g \div G①g$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及 び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	$J①g \div J③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	J	$J②g \div J③g$
蒸気管	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラス化粧原紙	m	-	L	$L②g \div L①g$
	天井・パイプシャフト内 及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	M	$M①g \div M②g$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及 び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	O	$O①g \div O③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	O	$O②g \div O③g$
冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	F	$Vg \div Fg$
	機械室・書庫・倉庫・ トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	G	$W①g \div G①g$
		アルミガラス化粧原紙	m	-	G	$W②g \div G①g$
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	-	H	$Xg \div Hg$
	床下及び暗渠内 (ピット内を含む)	着色アルミガラスクロス	m	-	I	$Yg \div Ig$
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む)及 び、浴室厨房などの多 湿箇所(厨房の天井内 は含まない)	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	$Z①g \div J③g$
		熔融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	J	$Z②g \div J③g$
ステンレス鋼板		m	-	J	$Z③g \div J③g$	

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*補正市場単価\*\*（ロックール）

項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式	
給水管・排水管・給湯管及び温水管（膨張管を含む。）	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	A	Ar ÷ Ag
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	rB	B	B①r ÷ B①g
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rB	B②r ÷ B①r
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rC	C①r ÷ C②r
		アルミガラス化粧保温筒	m	rC	C	C②r ÷ C②g
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	-	D	Dr ÷ Dg
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	rE	E①r ÷ E③r
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	rE	E②r ÷ E③r
		ステンレス鋼板	m	rE	E	E③r ÷ E③g
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	rF	F	Fr ÷ Fg
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	rG	G	G①r ÷ G①g
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	G②r ÷ G①r
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	rH	H	Hr ÷ Hg
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	rl	l	lr ÷ lg
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	J①r ÷ J③r
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	rJ	J②r ÷ J③r
		ステンレス鋼板	m	rJ	J	J③r ÷ J③g
	蒸気管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	K
機械室・書庫・倉庫・トレンチ		アルミガラスクロス	m	rL	L	L①r ÷ L①g
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rL	L②r ÷ L①r
天井・パイプシャフト内		アルミガラスクロス	m	-	rM	M①r ÷ M②r
		アルミガラス化粧保温筒	m	rM	M	M②r ÷ M②g
床下及び暗渠内（ピット内を含む）		着色アルミガラスクロス	m	-	N	Nr ÷ Ng
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		カラー亜鉛鉄板	m	-	rO	O①r ÷ O③r
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	rO	O②r ÷ O③r
		ステンレス鋼板	m	rO	O	O③r ÷ O③g
冷媒管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	rF	Vr ÷ Fr
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	rG	W①r ÷ G①r
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	W②r ÷ G①r
	天井・パイプシャフト内	アルミガラスクロス	m	-	rH	Xr ÷ Hr
	床下及び暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	-	rl	Yr ÷ Ir
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	Z①r ÷ J③r
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	rJ	Z②r ÷ J③r
		ステンレス鋼板	m	-	rJ	Z③r ÷ J③r



## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*補正市場単価\*\*（ポリスチレンフォーム）

項目	摘	要	単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管・排水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	A	$A_p \div A_g$
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	B	$B_p \div B①g$
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pC	$C①p \div C②p$
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	pC	C	$C②p \div C②g$
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	pD	D	$D_p \div D_g$
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	pE	$E①p \div E③p$
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	pE	$E②p \div E③p$
ステンレス鋼板		m	pE	E	$E③p \div E③g$	
冷水管・冷温水管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	pF	F	$F_p \div F_g$
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	pG	G	$G_p \div G①g$
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	pH	H	$H_p \div H_g$
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	pI	I	$I_p \div I_g$
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	$J①p \div J③p$
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	pJ	$J②p \div J③p$
		ステンレス鋼板	m	pJ	J	$J③p \div J③g$
冷水管（冷水温度2～4℃）	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	pG	$P_p \div G_p$
ブライン管	屋内露出	合成樹脂製カバー	m	-	pF	$Q_p \div F_p$
	機械室・書庫・倉庫・トレンチ	アルミガラスクロス	m	-	pG	$R_p \div G_p$
	天井・パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pH	$S_p \div H_p$
	床下及び暗渠内（ピット内を含む）	着色アルミガラスクロス	m	-	pI	$T_p \div I_p$
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び、浴室厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	$U①p \div J③p$
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	-	pJ	$U②p \div J③p$
		ステンレス鋼板	m	-	pJ	$U③p \div J③p$

## 【機械設備工事】

## 【ダクト設備】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘 要	単位	単価記号	
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	A	
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費別途、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	B	
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費別途、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	C	
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途)	m	D	
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	E	
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	F	
ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	G	
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	H	

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘 要	単位	単価記号	補正係数
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	A	1.03
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	B	1.03
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	C	1.04
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む)	m	D	1.03
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途、A+Bシール共)	m <sup>2</sup>	A	1.02
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費別途、A+Bシール共)	m <sup>2</sup>	C	1.02
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	E	1.03
チャンバー	高圧1ダクト用及び高圧2ダクト用、排煙ダクト用 (インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	E	1.03
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	F	1.03
ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	G	1.03
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	H	1.03

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*補正市場単価\*\*

グラスウールから【沖縄地区等】グラスウールへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【沖縄地区等】GW(参考歩掛り単価)÷GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋内露出(グラスウール)	m	F	$F \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(FG' \div Fg)$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(グラスウール)	m	G	$G \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	天井内・パイプシャフト内(グラスウール)	m	H	$H \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	床下・暗渠内(グラスウール)	m	I	$I \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(グラスウール)	m	J	$J \times \text{補正率}$

\*\*補正市場単価\*\*

グラスウールから【沖縄地区等】ロックウールへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【沖縄地区等】RW(参考歩掛り単価)÷GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋内露出(ロックウール)	m	F	$F \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(FR' \div Fr)$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	G	$G \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	H	$H \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	I	$I \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	J	$J \times \text{補正率}$

## 【機械設備工事】

## 【保温工事（配管）】

\*\*補正市場単価\*\*

グラスウールから【沖縄地区等】ポリスチレンフォームへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【沖縄地区等】PH(参考歩掛り単価)÷GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋内露出(ポリスチレンフォーム)	m	F	$F \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(FP' \div Fp)$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ポリスチレンフォーム)	m	G	$G \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	天井内・パイプシャフト内(ポリスチレンフォーム)	m	H	$H \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	床下・暗渠内(ポリスチレンフォーム)	m	I	$I \times \text{補正率}$
冷水管・冷温水管【沖縄地区等】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ポリスチレンフォーム)	m	J	$J \times \text{補正率}$

\*\*補正市場単価\*\*

【0.1MPa未満】グラスウールから

【0.1MPa以上0.6MPa未満】グラスウールへの補正

細目	摘 要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【0.1MPa以上0.6MPa未満】GW(参考歩掛り単価)÷【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋内露出(ロックウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KG' \div Kg)$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

## 【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

【0.1MPa未満】グラスウールから

\*\*補正市場単価\*\*

【0.6MPa以上1.0MPa未満】グラスウールへの補正

細目	摘要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【0.6MPa以上1.0MPa未満】GW(参考歩掛り単価)÷ 【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋内露出(グラスウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KR' \div Kr)$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(グラスウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(グラスウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	床下・暗渠内(グラスウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(グラスウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

\*\*補正市場単価\*\*

【0.1MPa未満】グラスウールから

【0.1MPa以上0.6MPa未満】ロックウールへの補正

細目	摘要	単位	基準単価	補正方法
	補正率の算出			補正率＝【0.1MPa以上0.6MPa未満】RW(参考歩掛り単価)÷ 【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋内露出(ロックウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KG' \div Kg)$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.1MPa以上0.6MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

## 【機械設備工事】

【保温工事（配管）】

【0.1MPa未満】グラスウールから

\*\*補正市場単価\*\*

【0.6MPa以上1.0MPa未満】ロックウールへの補正

細目	摘 要	単 位	基準単価	補 正 方 法
	補正率の算出			補正率＝【0.6MPa以上1.0MPa未満】RW(参考歩掛り単価)÷ 【0.1MPa未満】GW(参考歩掛り単価) 注1)補正率を算出するための歩掛り単価に用いる労務単価は市場単価採用都市の適要労務単価とする
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋内露出(ロックウール)	m	K	$K \times \text{補正率} \times \text{補正係数}(KR' \div Kr)$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	機械室・書庫・倉庫・トレンチ(ロックウール)	m	L	$L \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	天井内・パイプシャフト内(ロックウール)	m	M	$M \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	床下・暗渠内(ロックウール)	m	N	$N \times \text{補正率}$
蒸気管【0.6MPa以上1.0MPa未満】	屋外露出・浴室・厨房等多湿箇所(ロックウール)	m	O	$O \times \text{補正率}$

## 【機械設備工事】

## 【衛生器具設備】

## \*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
大便器 取付	洗浄弁式、温水洗浄便座	組	A	
普通便座 取付	温水洗浄便座に対する差額分	組	B	

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	表番号
大便器	洗浄弁式	組	Aw	表RM-4-1
和風便器	洗浄弁式	組	A①j	
	タンク式(ロータンク)	組	A②j	
和風便器耐火カバー		組	A③j	

## \*\*補正市場単価\*\*

項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式
和風便器	洗浄弁式	組	—	A - B	$A①j \div Aw$
	タンク式(ロータンク)	組	—	A - B	$A②j \div Aw$
和風便器耐火カバー		組	—	A - B	$A③j \div Aw$